Prairie Homes
Door Collection

設計施工図面集 Vol.1

2015.08版

ヨーロッパを感じる

EURO TREND®

こころ遊ばせるドア

gp door

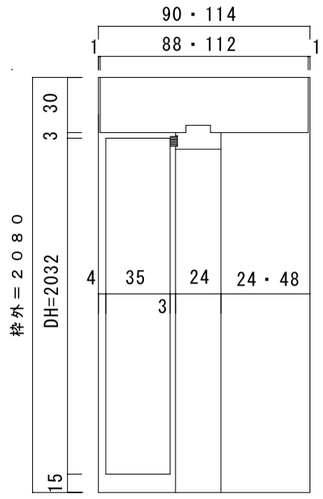
Good Price Good Quality

AMERICAN 60's DESIGN

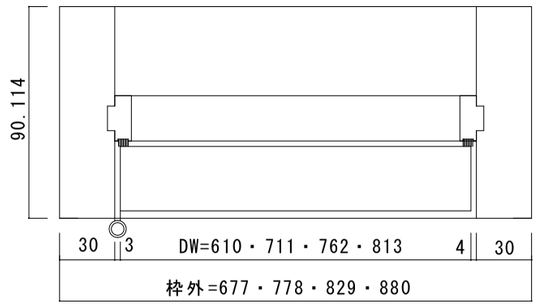
ACE DOOR

AMERICAN 60' DESIGN

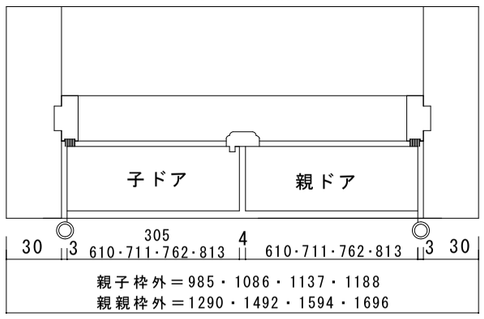
90mm・114mm固定枠

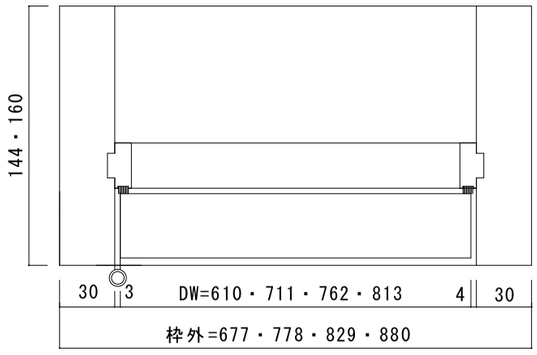


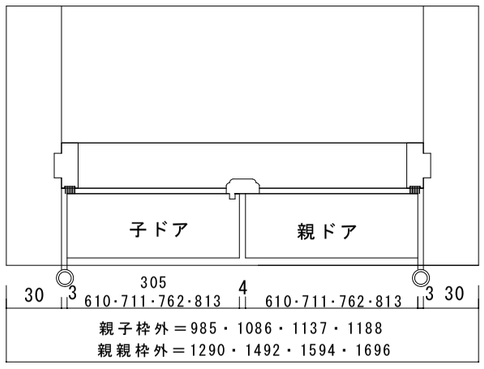
片開き



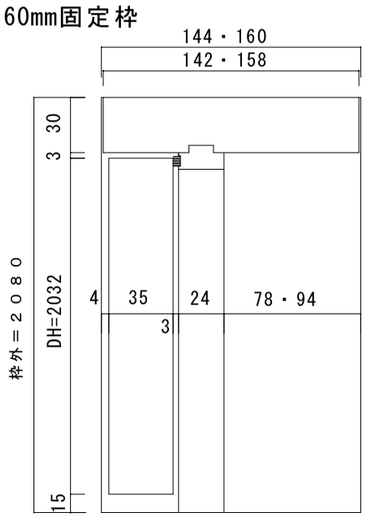
親子・親親



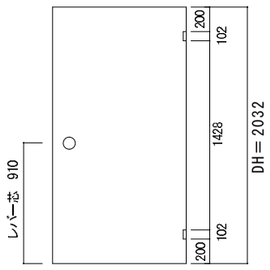




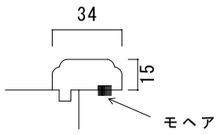
144mm・160mm固定枠



金物加工位置



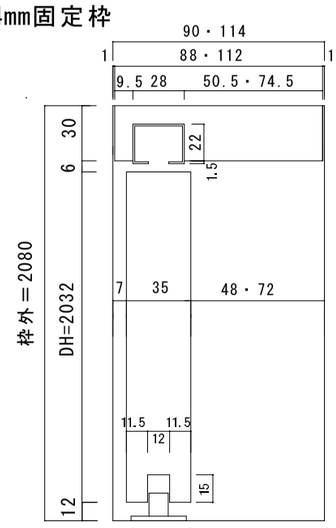
定規縁　拡大図



注意！！縦枠はジャストカット仕様でカットする必要はありません。

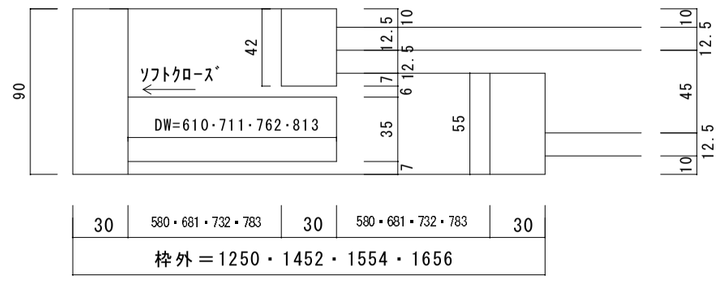
ユーロトレンドドア	片開き・親子・親親ドア	作成　2015.01.01	改訂　2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			PHD－001
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

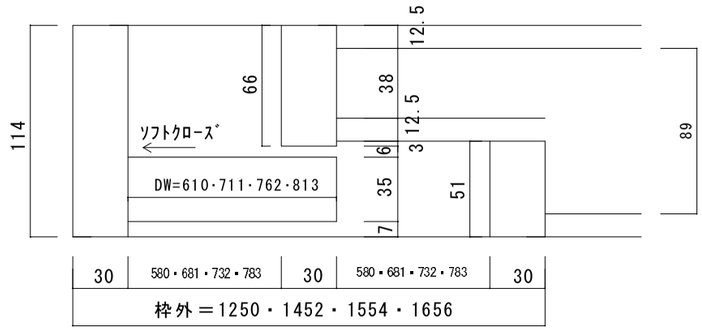
90mm・114mm固定枠



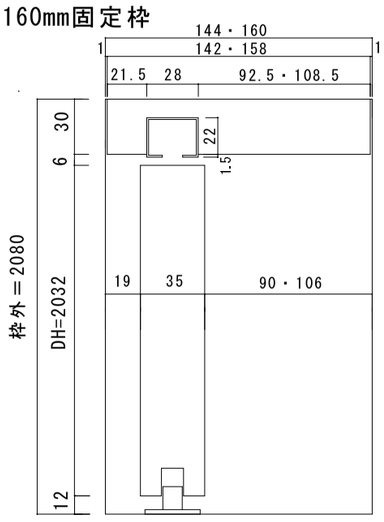
☆１
gpドアのソフトクローズは
オプションです。

注意！！縦枠はジャストカット仕様で
カットする必要はありません。

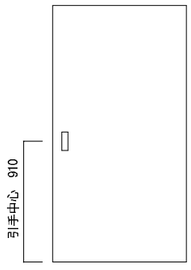


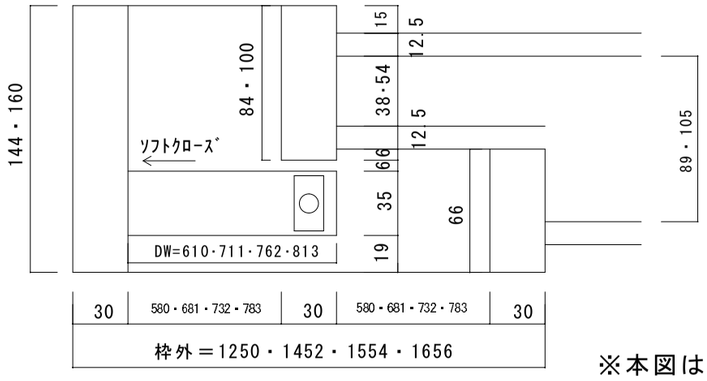


144mm・160mm固定枠



金物加工位置

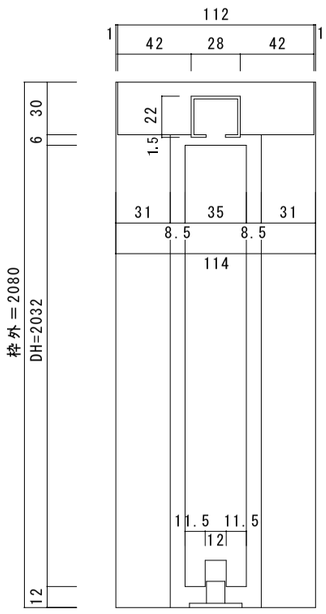




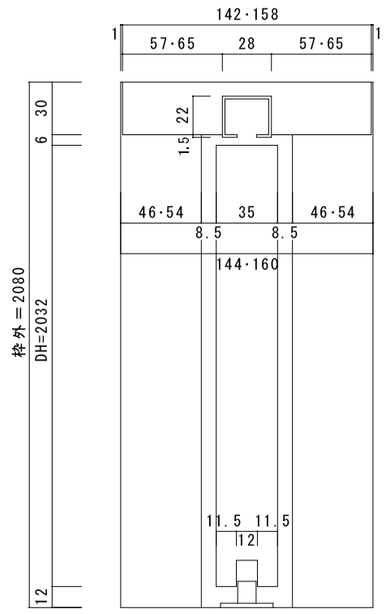
※本図は右勝手

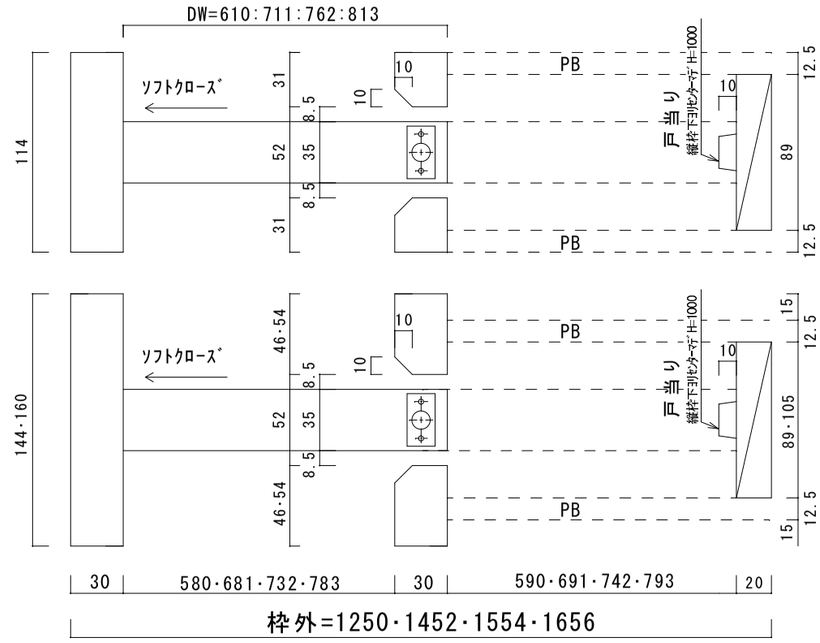
ユーロトレンドドア	片引きドア	作成　2015.01.01	改訂　2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			PHD－002
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

114mm固定枠



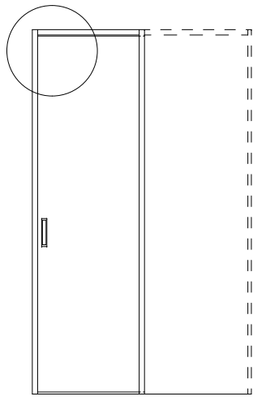
144mm・160mm固定枠

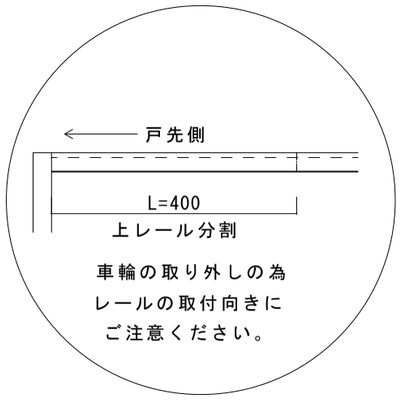




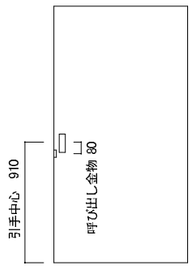
90mm枠は非対応

注意！！縦枠はジャストカット仕様で
カットする必要はありません。





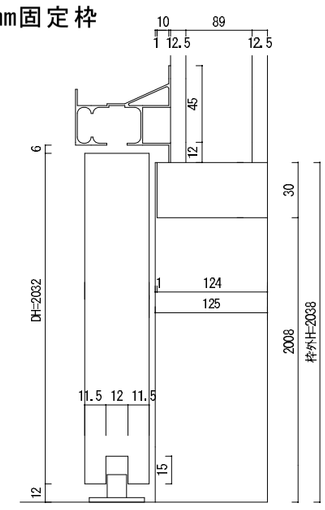
金物加工位置

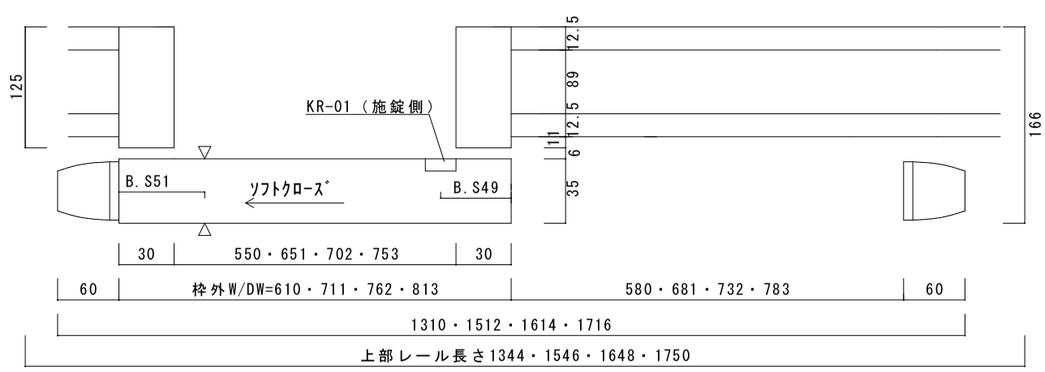


☆１
gpドアのソフトクローズは
オプションです。

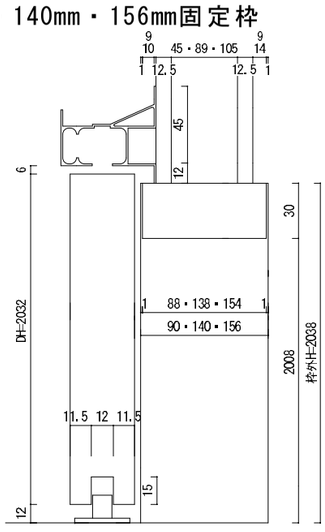
ユーロトレンドドア	ポケットドア	作成 2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			PHD－003
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

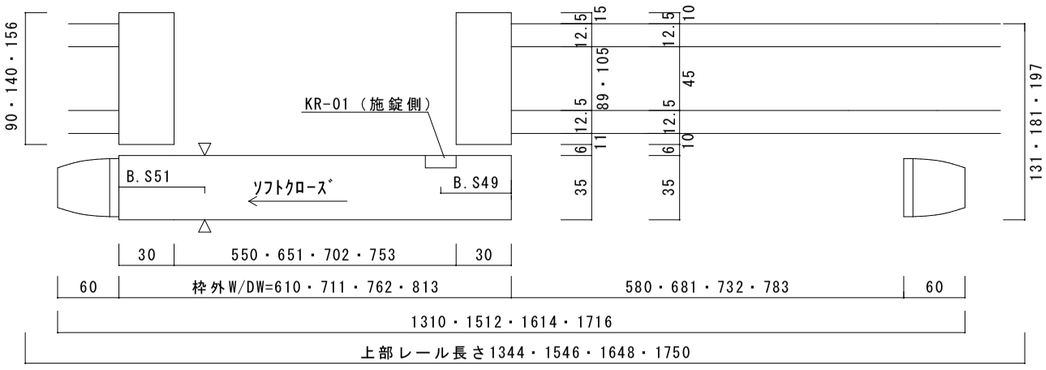
125mm固定枠





90mm・140mm・156mm固定枠

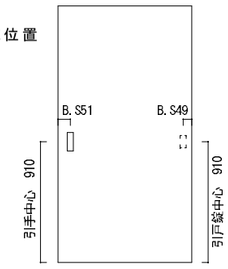




＊本図は右勝手

注意！！縦枠はジャストカット仕様で
カットする必要はありません。

金物加工位置

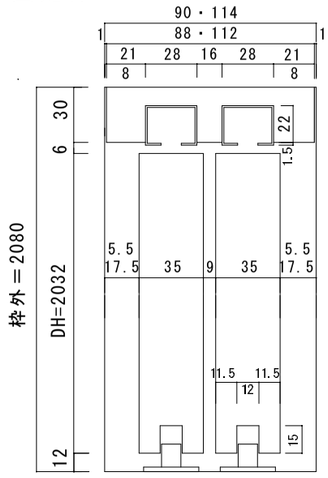


☆１
gpドアのソフトクローズは
オプションです。

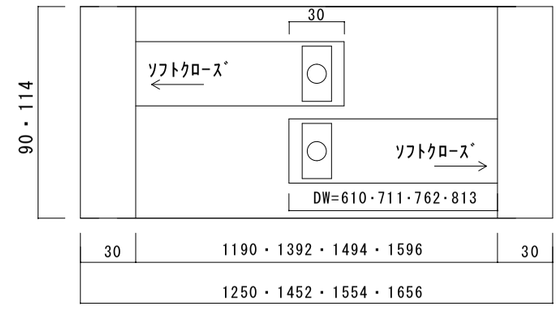
※アウトセット引戸錠は
施錠側が一方向に
限定されます。
納まりに注意下さい。

ユーロトレンドドア	アウトセット片引きドア	作成 2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			PHD－004
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

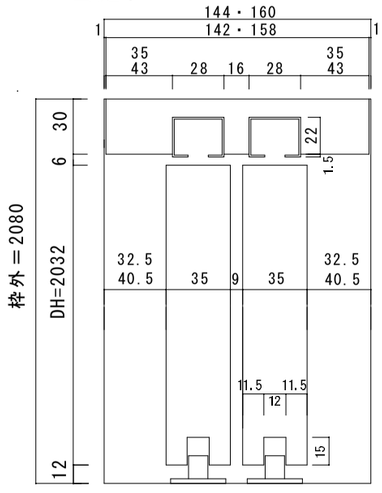
90mm・114mm固定枠



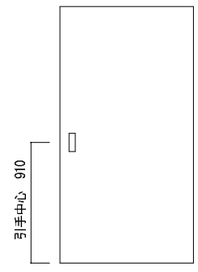
注意！！縦枠はジャストカット仕様で
カットする必要はありません。

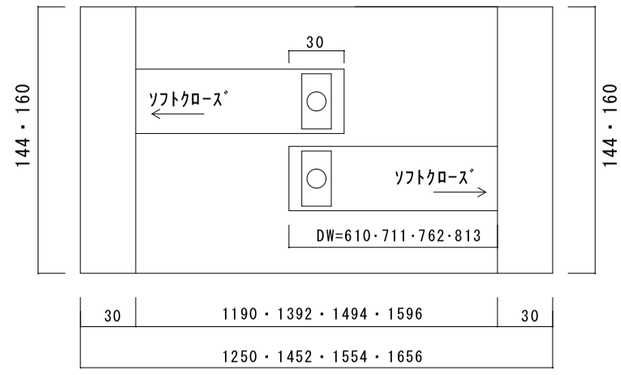


144mm・160mm固定枠



金物加工位置

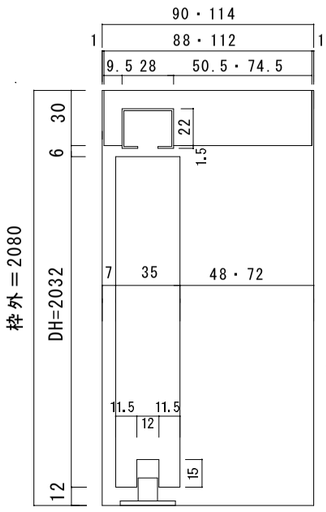




☆１
gpドアのソフトクローズは
オプションです。

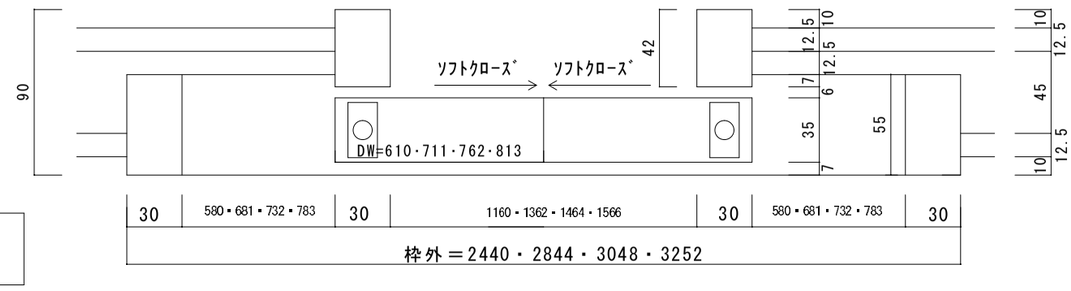
ユーロトレンドドア	引き違いドア	作成　2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			ＰＨＤ－００５
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

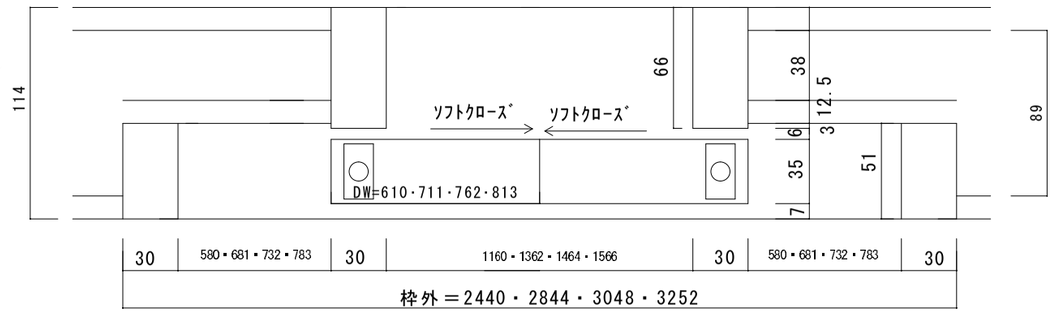
90mm・114mm固定枠



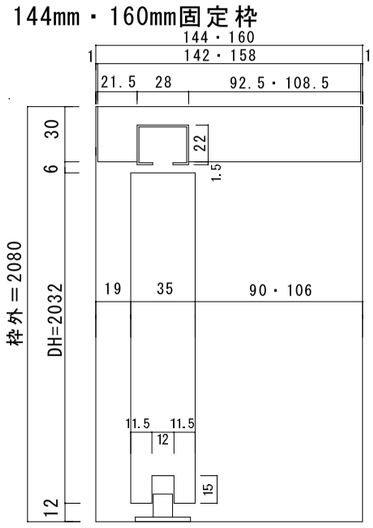
☆１
gpドアのソフトクローズは
オプションです。

注意！！縦枠はジャストカット
仕様でカットする必要は
ありません。

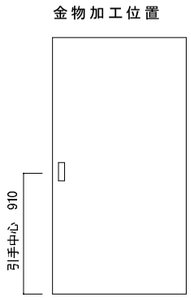


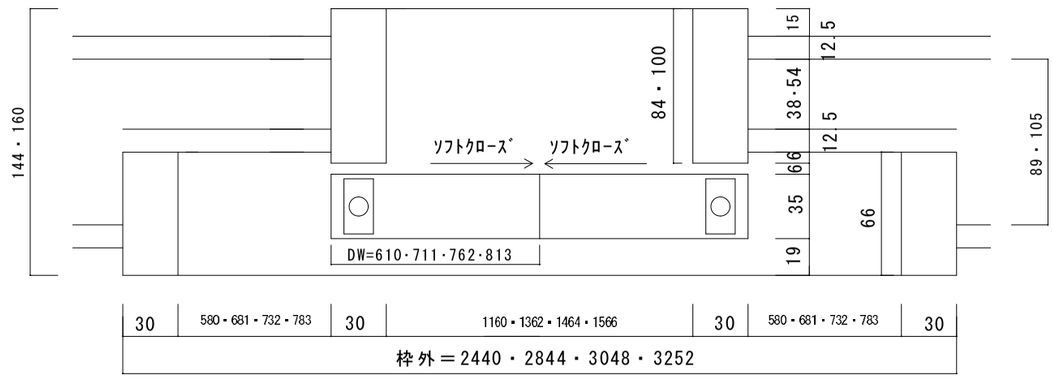


144mm・160mm固定枠



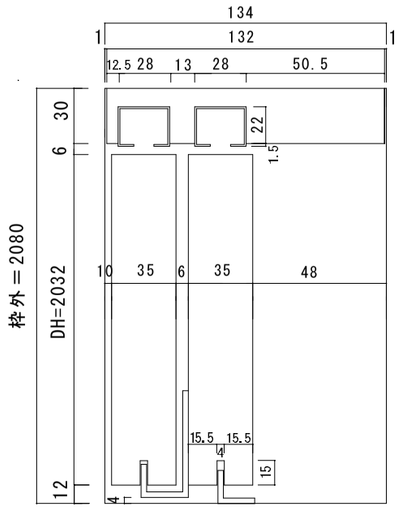
金物加工位置



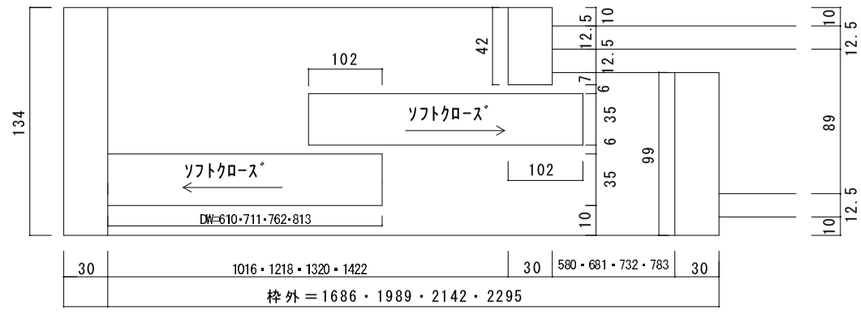


ユーロトレンドドア	２本引き分けドア	作成　2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpﾄﾞｱ		制定	改訂			ＰＨＤ－００６
ACEﾄﾞｱ		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

134mm固定枠

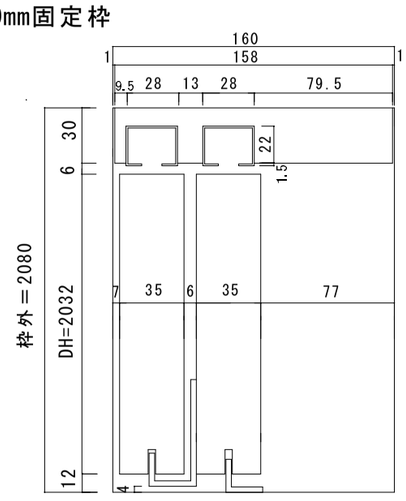


☆１
gpドアのソフトクローズは
オプションです。

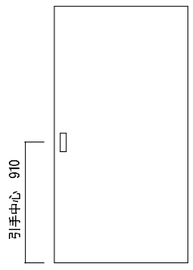


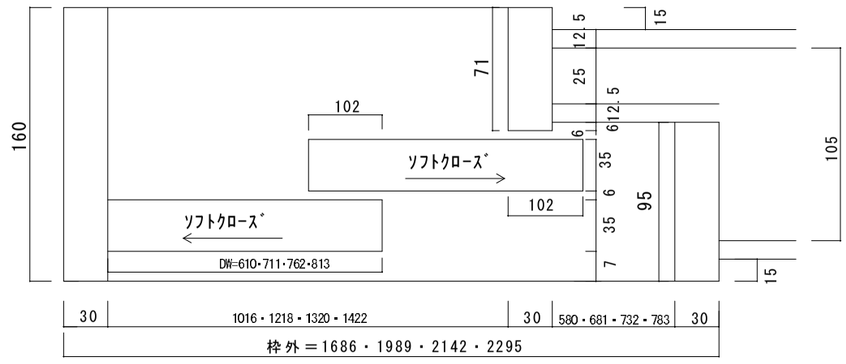
注意！！縦枠はジャストカット仕様で
カットする必要はありません。

160mm固定枠



金物加工位置

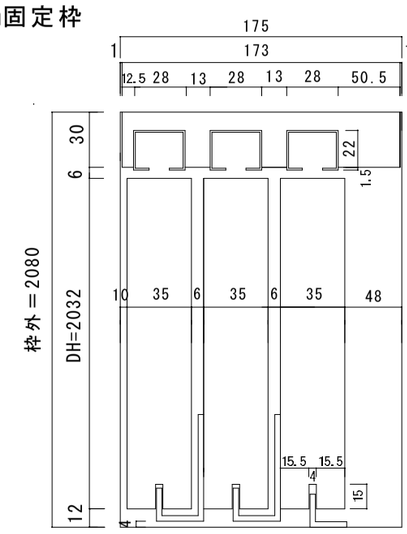




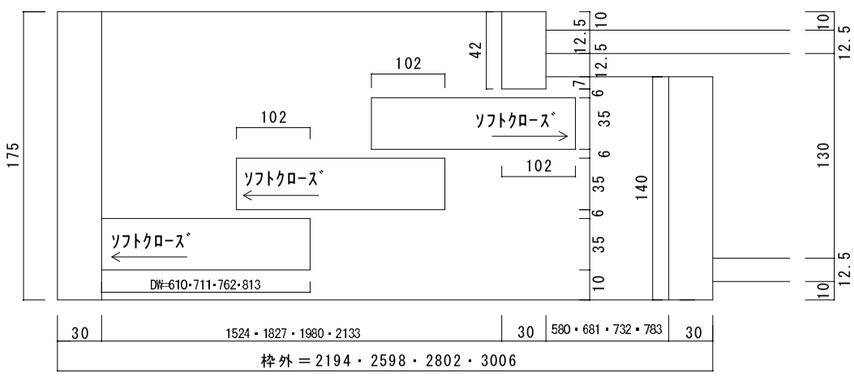
※Colors,Classic,ACEドアのガラスドアは非対応

ユーロトレンドドア	２本引き込みドア	作成　2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			ＰＨＤ－００７
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

175mm固定枠

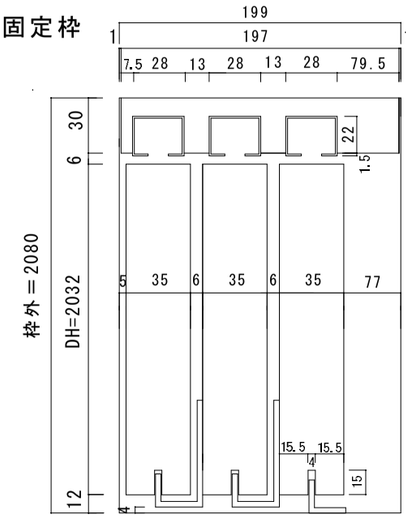


☆１
gpドアのソフトクローズは
オプションです。

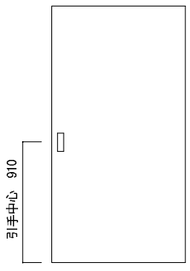


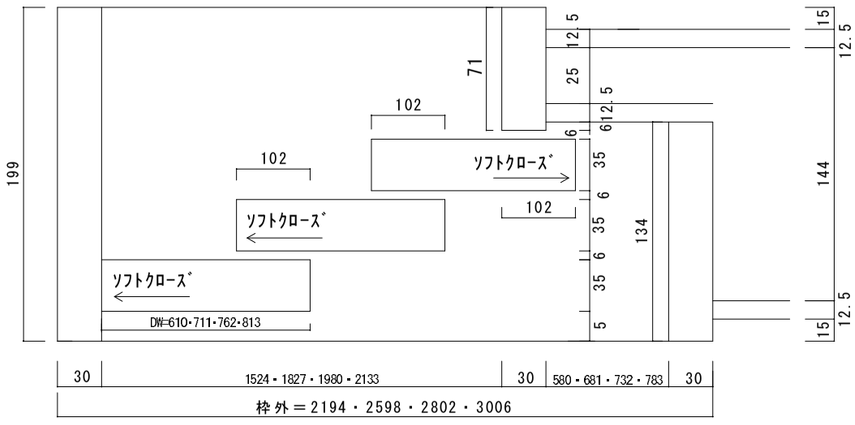
注意！！縦枠はジャストカット仕様で
カットする必要はありません。

199mm固定枠



金物加工位置

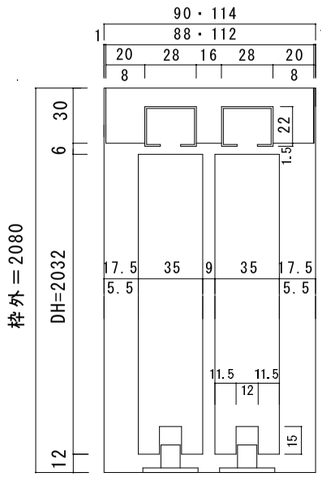


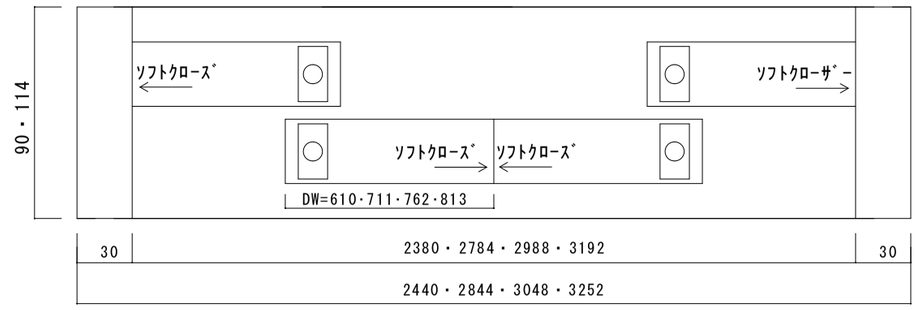


※Colors,Classic,ACEドアのガラスドアは非対応

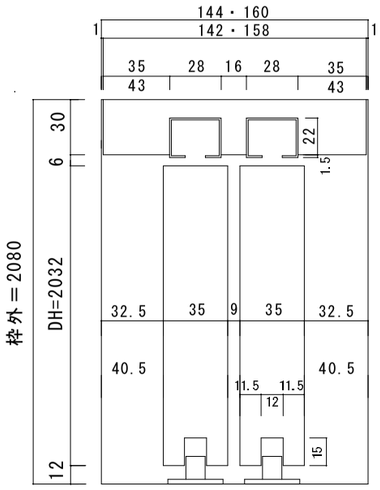
ユーロトレンドドア	３本引き込みドア	作成　2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			ＰＨＤ－００８
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

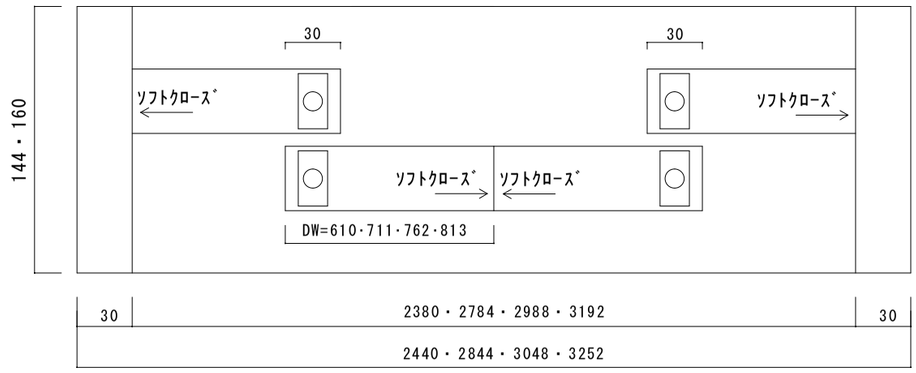
90mm・114mm固定枠





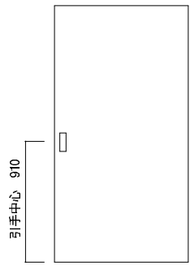
144mm・160mm固定枠





注意！！縦枠はジャストカット仕様で
カットする必要はありません。

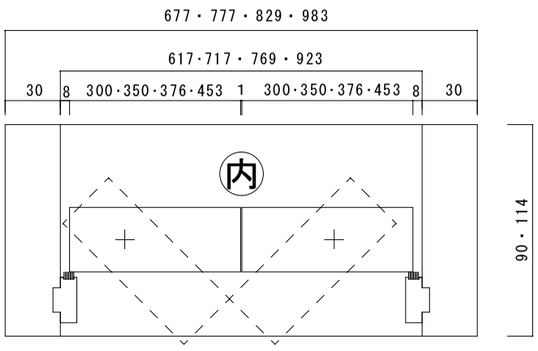
金物加工位置



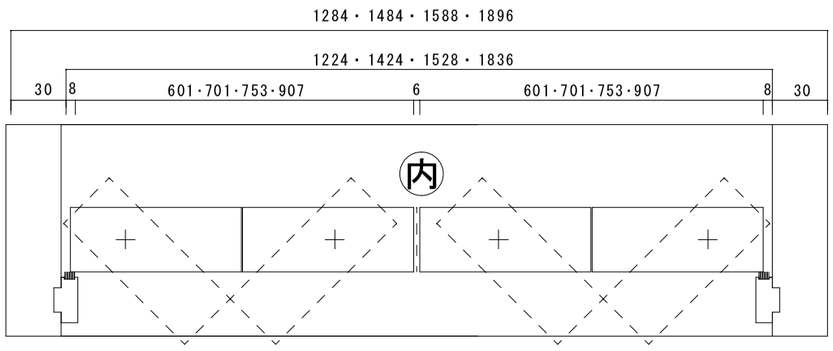
☆１
gpドアのソフトクローズは
オプションです。

ユーロトレンドドア	4本引き違いドア	作成　2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			PHD－009
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

２枚折戸

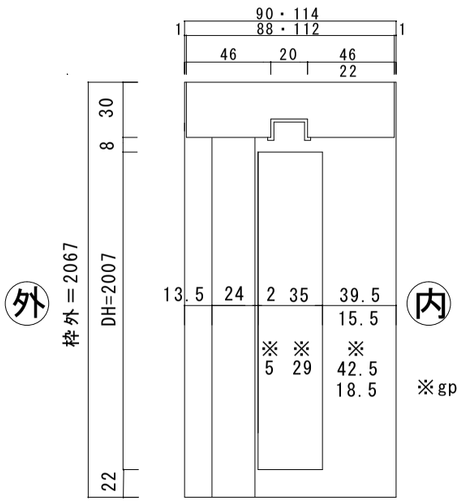


４枚折戸



90mm・114mm固定枠

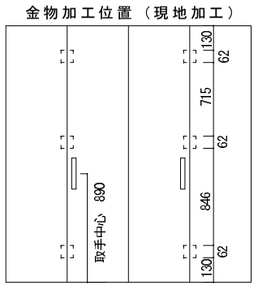
Colors,Classic,ACEの扉は、扉面取りしてある方を外側とする。



※gpドアの場合

注意！！縦枠はジャストカット仕様でカットする必要はありません。

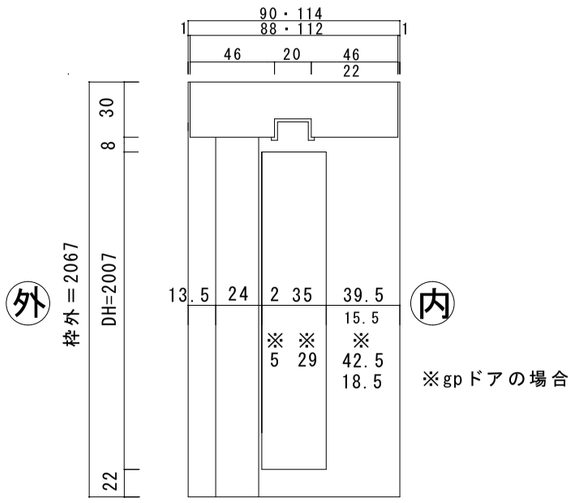
金物加工位置（現地加工）

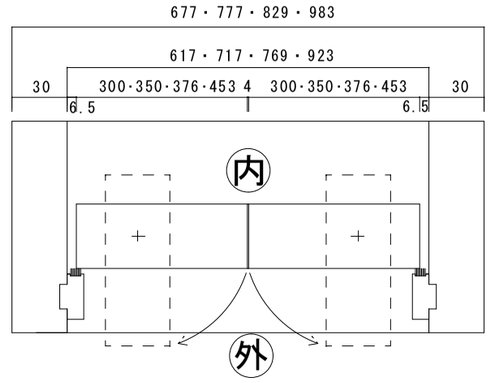


振止め金具は、扉の裏側に取付願います。

ユーロトレンドドア	２枚折戸・４枚折戸	作成　2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			PHD－010
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

90mm・114mm固定枠

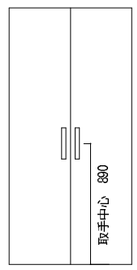




Colors,Classic,ACEの扉は、扉面取りしてある方を外側とする。

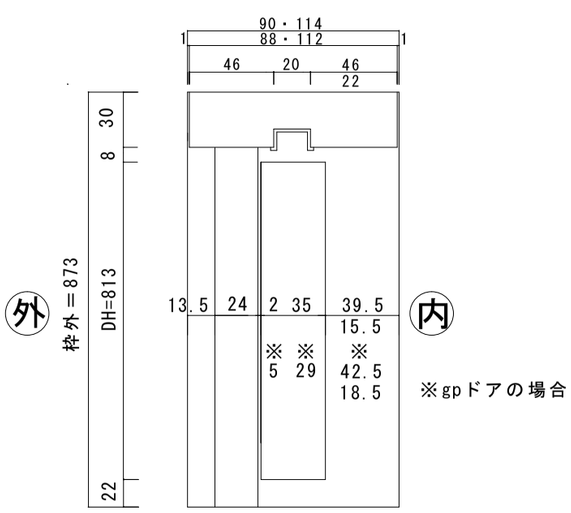
注意！！縦枠はジャストカット仕様でカットする必要はありません。

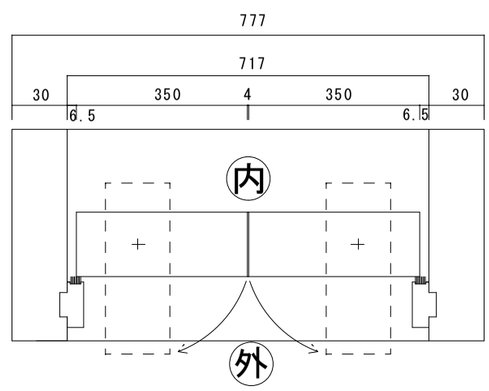
金物加工位置（現地加工）



ユーロトレンドドア	観音開き収納	作成　2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			ＰＨＤ－０１１
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

90mm・114mm固定枠





Colors,Classic,ACEの扉は、扉面取りしてある方を外側とする。

注意！！縦枠はジャストカット仕様でカットする必要はありません。

ユーロトレンドドア	腰高収納	作成　2015.01.01	改訂 2015.06.01			図番
gpドア		制定	改訂			ＰＨＤ－０１２
ACEドア		プレイリーホームズ株式会社	改訂			

片開きドア金物仕様書(PHD-001)

	ユーロトレンドドア				ACEドア				枠		ドア	
名称	メーカー	品番	片開き	親子・親親	メーカー	品番	片開き	親子・親親	取付	同梱	取付	同梱
取手(空錠)	カワジュン	1-ZGC-※-LW	x1	x1	Kwikset	720H-US11P,US502	x1	x1				○
取手(間仕)	カワジュン	2-ZGC-※-LW	(x1)	(x1)	Kwikset	730H-US11P,US502	(x1)	(x1)				○
取手(表示)	カワジュン	3-ZGC-※-LW	(x1)	(x1)	-	-	-	-				○
取手(シリンダー)	カワジュン	4-ZGC-※-LW	(x1)	(x1)	Kwikset	740H-US11P,US502	(x1)	(x1)				○
取手(空錠)	カワジュン	1-ZPK-4Q-LW	(x1)	(x1)	-	-	-	-				○
取手(間仕)	カワジュン	2-ZPK-4Q-LW	(x1)	(x1)	-	-	-	-				○
取手(表示)	カワジュン	3-ZPK-4Q-LW	(x1)	(x1)	-	-	-	-				○
取手(シリンダー)	カワジュン	4-ZPK-4Q-LW	(x1)	(x1)	-	-	-	-				○
ケース	カワジュン	LWR	x1	x1	-	取手同梱	x1	x1			○	
調整受座	カワジュン	KLWB-42R	x1	x1	カワジュン	KLWB-42R	x1	x1	○			
3方向調整丁番	アトム	3方向調整丁番	x1組	x2組	アトム	3方向調整丁番	x1組	x2組	○			○
フランス落とし	アトム	ソフトフランス落しWB	-	x2	アトム	ソフトフランス落しWB	-	x2			本体	受座

	gpドア				PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	片開き	親子・親親	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	1-V2C-※-LW	x1	x1				○		○
カワジュン	2-V2C-※-LW	(x1)	(x1)				○		○
カワジュン	3-V2C-※-LW	(x1)	(x1)				○		○
カワジュン	4-V2C-※-LW	(x1)	(x1)				○		○
Kwikset	720CHL-US※,720H-US※	(x1)	(x1)				○		○
Kwikset	730CHL-US※,730H-US※	(x1)	(x1)				○		○
-	-	-	-				-		-
Kwikset	740CHL-US※,740H-US※	(x1)	(x1)				○		○
カワジュン	LWR	x1	x1				○		○
カワジュン	KLWB-42R	x1	x1	○					○
アトム	3方向調整丁番	x1組	x2組				○		○
アトム	ソフトフランス落しWB	-	x2				○		○

片引きドア金物仕様書(PHD-002)

	ユーロトレンドドア			ACEドア			枠		ドア	
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱
引手	カワジュン	PC-303-※	x2	カワジュン	PS-035-XT,PA-62-XK	x2			○	
間仕切り錠	カワジュン	2-KM-17-※	(x1)	カワジュン	2-KM-12-XT,17-003	(x1)			○	
表示錠	カワジュン	3-KM-17-※	(x1)	カワジュン	3-KM-12-XT,17-003	(x1)			○	
レール	アトム	HR-150-シルバー	x1	アトム	HR-150-シルバー	x1		○		
上車(引手側)	アトム	FC-292-K-H-DG	x1	アトム	FC-292-K-H-DG	x1		○		
上車(戸尻側)	アトム	HR-292-K-DG	x1	アトム	HR-292-K-DG	x1		○		
上車(引手側)	-	-	-	-	-	-		-		
上車(戸尻側)	-	-	-	-	-	-		-		
下部ガイド	アトム	FG-010	x1	アトム	FG-010	x1				○
ストッパー	アトム	HR-311-DG	x1	アトム	HR-311-DG	x1				○

	gpドア		PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PC-191-※	x2				○		○
カワジュン	2-KM-17-※	(x1)				○		○
カワジュン	3-KM-17-※	(x1)				○		○
アトム	HR-150-シルバー	x1		○				○
アトム	HR-290-DG	x1		○				○
アトム	HR-290-DG	x1		○				○
アトム	FC-292-K-H-DG	(オプション x1)		○				○
アトム	HR-292-K-DG	(オプション x1)		○				○
アトム	FG-010	x1				○		○
アトム	HR-311-DG	x2				○		○

ポケットドア金物仕様書(PHD-003)

	ユーロトレンドドア			ACEドア			枠		ドア	
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱
引手	カワジュン	PC-303-※	x2	カワジュン	PS-035-XT,PA-62-XK	x2			○	
間仕切り錠	カワジュン	2-KM-17-※	(x1)	カワジュン	2-KM-12-XT,17-003	(x1)			○	
表示錠	カワジュン	3-KM-17-※	(x1)	カワジュン	3-KM-12-XT,17-003	(x1)			○	
レール	アトム	HR-150-シルバー	x1	アトム	HR-150-シルバー	x1		○		
上車(引手側)	アトム	FC-292-K-H-DG	x1	アトム	FC-292-K-H-DG	x1		○		
上車(戸尻側)	アトム	HR-292-K-DG	x1	アトム	HR-292-K-DG	x1		○		
上車(引手側)	-	-	-	-	-	-		-		
上車(戸尻側)	-	-	-	-	-	-		-		
下部ガイド	アトム	FG-010	x1	アトム	FG-010	x1		○		
ストッパー	アトム	HR-311-DG	x1	アトム	HR-311-DG	x1		○		
呼び出し金物	アトム	手掛フック-WB	x1	アトム	手掛フックWB	x1			○	
戸袋側ストッパー	丸喜	M-300	x1	丸喜	M-300	x1		○		

	gpドア		PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PC-191-※	x2				○		○
カワジュン	2-KM-17-※	(x1)				○		○
カワジュン	3-KM-17-※	(x1)				○		○
アトム	HR-150-シルバー	x1		○				○
アトム	HR-290-DG	x1		○				○
アトム	HR-290-DG	x1		○				○
アトム	FC-292-K-H-DG	(オプション x1)		○				○
アトム	HR-292-K-DG	(オプション x1)		○				○
アトム	FG-010	x1		○				○
アトム	HR-311-DG	x2		○				○
アトム	FK-310-グレー	x2		○				○
アトム	FK-320-グレー	x2		○				○

アウトセット片引きドア金物仕様書(PHD-004)

	ユーロトレンドドア			ACEドア			枠		ドア	
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱
引手	カワジュン	PC-303-※	x2	カワジュン	PS-035-XT,PA-62-XK	x2			○	
間仕切り錠	カワジュン	2-KR-01-※	(x1)	カワジュン	2-KM-12-XT,17-003	(x1)			○	
表示錠	カワジュン	3-KR-01-※	(x1)	カワジュン	3-KM-12-XT,17-003	(x1)			○	
ドリガー取付用ビス	アトム	OS用ドリガーねじ	x1	アトム	OS用ドリガーねじ	x1		○		
化粧カバー	アトム	HR-342	x1組	アトム	HR-342	x1組		○		
レール	アトム	HR-150-OS-シルバー	x1	アトム	HR-150-OS-シルバー	x1		○		
上車(引手側)	アトム	FC-292-K-H-DG	x1	アトム	FC-292-K-H-DG	x1		○		
上車(戸尻側)	アトム	HR-292-K-DG	x1	アトム	HR-292-K-DG	x1		○		
上車(引手側)	-	-	-	-	-	-		-		
上車(戸尻側)	-	-	-	-	-	-		-		
下部ガイド	アトム	FG-010	x1	アトム	FG-010	x1		○		
ストッパー	アトム	HR-311-DG	x1	アトム	HR-311-DG	x1		○		
上部戸当り	アトム	FK-310-グレー	x2	アトム	FK-310-グレー	x2		○		
下部戸当り	アトム	FK-320-グレー	x2	アトム	FK-320-グレー	x2		○		

	gpドア		PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PC-191-※	x2				○		○
カワジュン	2-KR-01-※	(x1)				○		○
カワジュン	3-KR-01-※	(x1)				○		○
アトム	OS用ドリガーねじ	x1		○				○
アトム	HR-342	x1組		○				○
アトム	HR-150-OS-シルバー	x1		○				○
アトム	HR-290-DG	x1		○				○
アトム	HR-290-DG	x1		○				○
アトム	FC-292-K-H-DG	(オプション x1)		○				○
アトム	HR-292-K-DG	(オプション x1)		○				○
アトム	FG-010	x1		○				○
アトム	HR-311-DG	x2		○				○
アトム	FK-310-グレー	x2		○				○
アトム	FK-320-グレー	x2		○				○

引違いドア金物仕様書(PHD-005)

	ユーロトレンドドア			ACEドア			枠		ドア	
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱
引手	カワジュン	PC-303-※	x4	カワジュン	PS-035-XT,PA-62-XK	x4			○	
間仕切り錠	カワジュン	2-KM-17-※	(x2)	カワジュン	2-KM-12-XT,17-003	(x2)			○	
表示錠	カワジュン	3-KM-17-※	(x2)	カワジュン	3-KM-12-XT,17-003	(x2)			○	
レール	アトム	HR-150-シルバー	x2	アトム	HR-150-シルバー	x2		○		
上車(引手側)	アトム	FC-292-K-H-DG	x2	アトム	FC-292-K-H-DG	x2		○		
上車(戸尻側)	アトム	HR-292-K-DG	x2	アトム	HR-292-K-DG	x2		○		
上車(引手側)	-	-	-	-	-	-		-		
上車(戸尻側)	-	-	-	-	-	-		-		
下部ガイド	アトム	FG-010	x2	アトム	FG-010	x2				○
ストッパー	アトム	HR-311-DG	x2	アトム	HR-311-DG	x2				○

	gpドア		PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PC-191-※	x4				○		○
カワジュン	2-KM-17-※	(x2)				○		○
カワジュン	3-KM-17-※	(x2)				○		○
アトム	HR-150-シルバー	x2		○				○
アトム	HR-290-DG	x2		○				○
アトム	HR-290-DG	x2		○				○
アトム	FC-292-K-H-DG	(オプション x2)		○				○
アトム	HR-292-K-DG	(オプション x2)		○				○
アトム	FG-010	x2				○		○
アトム	HR-311-DG	x4				○		○

引分けドア金物仕様書(PHD-006)

	ユーロトレンドドア			ACEドア			枠		ドア	
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱
引手	カワジュン	PC-303-※	x4	カワジュン	PS-035-XT,PA-62-XK	x4			○	
レール	アトム	HR-150-シルバー	x1	アトム	HR-150-シルバー	x1		○		
上車(引手側)	アトム	FC-292-K-H-DG	x2	アトム	FC-292-K-H-DG	x2		○		
上車(戸尻側)	アトム	HR-292-K-DG	x2	アトム	HR-292-K-DG	x2		○		
上車(引手側)	-	-	-	-	-	-		-		
上車(戸尻側)	-	-	-	-	-	-		-		
下部ガイド	アトム	FG-010	x2	アトム	FG-010	x2				○
引分け用ストッパー	アトム	HR-375	x1	アトム	HR-375	x1				○
ストッパー	アトム	HR-311-DG	x2	アトム	HR-311-DG	x2				○

	gpドア		PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PC-191-※	x4				○		○
アトム	HR-150-シルバー	x1		○				○
アトム	HR-290-DG	x2		○				○
アトム	HR-290-DG	x2		○				○
アトム	FC-292-K-H-DG	(オプション x2)		○				○
アトム	HR-292-K-DG	(オプション x2)		○				○
アトム	FG-010	x2				○		○
アトム	HR-375	x1				○		○
アトム	HR-311-DG	x2				○		○

2枚引込みドア金物仕様書(PHD-007)

	ユーロトレンドドア			ACEドア			枠		ドア	
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱
引手	カワジュン	PC-303-※	x2	カワジュン	PS-035-XT,PA-62-XK	x2			○	
レール	アトム	HR-150-シルバー	x2	アトム	HR-150-シルバー	x2		○		
上車(引手側)	アトム	FC-292-K-H-DG	x2	アトム	FC-292-K-H-DG	x2		○		
上車(戸尻側)	アトム	HR-292-K-DG	x2	アトム	HR-292-K-DG	x2		○		
上車(引手側)	-	-	-	-	-	-		-		
上車(戸尻側)	-	-	-	-	-	-		-		
床付けガイド	アトム	FG-990	x1	アトム	FG-990	x1				○
ガイドピース	アトム	FG-960	x1	アトム	FG-960	x1				○
引戸下溝補強金具	アトム	引戸下溝補強金具	x4	アトム	引戸下溝補強金具	x4			○	
ストッパー	アトム	HR-311-DG	x2	アトム	HR-311-DG	x2				○

	gpドア		PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PC-191-※	x2				○		○
アトム	HR-150-シルバー	x2		○				○
アトム	HR-290-DG	x2		○				○
アトム	HR-290-DG	x2		○				○
アトム	FC-292-K-H-DG	(オプション x2)		○				○
アトム	HR-292-K-DG	(オプション x2)		○				○
アトム	FG-990	x1				○		○
アトム	FG-960	x1				○		○
アトム	引戸下溝補強金具	x4				○		○
アトム	HR-311-DG	x4				○		○

3枚引込みドア金物仕様書(PHD-008)

	ユーロトレンドドア			ACEドア			枠		ドア	
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱
引手	カワジュン	PC-303-※	x2	カワジュン	PS-035-XT,PA-62-XK	x2			○	
レール	アトム	HR-150-シルバー	x3	アトム	HR-150-シルバー	x3		○		
上軍(引手側)	アトム	FC-292-K-H-DG	x3	アトム	FC-292-K-H-DG	x3		○		
上軍(戸尻側)	アトム	HR-292-K-DG	x3	アトム	HR-292-K-DG	x3		○		
上軍(引手側)	−	−	−	−	−	−		−		
上軍(戸尻側)	−	−	−	−	−	−		−		
床付けガイド	アトム	FG-990	x1	アトム	FG-990	x1				○
ガイドピース	アトム	FG-960	x2	アトム	FG-960	x2				○
引戸下溝補強金具	アトム	引戸下溝補強金具	x6	アトム	引戸下溝補強金具	x6			○	
ストッパー	アトム	HR-311-DG	x3	アトム	HR-311-DG	x3				○

gpドア			PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PC-191-※	x2				○		○
アトム	HR-150-シルバー	x3		○				○
アトム	HR-290-DG	x3		○				○
アトム	HR-290-DG	x3		○				○
アトム	FC-292-K-H-DG	(オプション x3)		○				○
アトム	HR-292-K-DG	(オプション x3)		○				○
アトム	FG-990	x1				○		○
アトム	FG-960	x2				○		○
アトム	引戸下溝補強金具	x6				○		○
アトム	HR-311-DG	x6				○		○

4枚引違いドア金物仕様書(PHD-009)

	ユーロトレンドドア			ACEドア			枠		ドア	
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱
引手	カワジュン	PC-303-※	x8	カワジュン	PS-035-XT,PA-62-XK	x8			○	
レール	アトム	HR-150-シルバー	x2	アトム	HR-150-シルバー	x2		○		
上軍(引手側)	アトム	FC-292-K-H-DG	x4	アトム	FC-292-K-H-DG	x4		○		
上軍(戸尻側)	アトム	HR-292-K-DG	x4	アトム	HR-292-K-DG	x4		○		
上軍(引手側)	−	−	−	−	−	−		−		
上軍(戸尻側)	−	−	−	−	−	−		−		
下部ガイド	アトム	FG-010	x4	アトム	FG-010	x4				○
引分け用ストッパー	アトム	HR-375	x2	アトム	HR-375	x2				○
ストッパー	アトム	HR-311-DG	x2	アトム	HR-311-DG	x2				○

gpドア			PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PC-191-※	x8				○		○
アトム	HR-150-シルバー	x2		○				○
アトム	HR-290-DG	x4		○				○
アトム	HR-290-DG	x4		○				○
アトム	FC-292-K-H-DG	(オプション x4)		○				○
アトム	HR-292-K-DG	(オプション x4)		○				○
アトム	FG-010	x4				○		○
アトム	HR-375	x2				○		○
アトム	HR-311-DG	x4				○		○

折れ戸金物仕様書(PHD-0010)

	ユーロトレンドドア				ACEドア				枠		ドア	
名称	メーカー	品番	2枚折戸	4枚折戸	メーカー	品番	2枚折戸	4枚折戸	取付	同梱	取付	同梱
クローゼット取手	カワジュン	PC-166-※	x1	x2	カワジュン	PC-063-XNL, 003L	x1	x2				○
上レール	アトム	HD-1-シルバー	x1	x1	アトム	HD-1-シルバー	x1	x1		○		
上ピボット	アトム	HD-14	x1	x2	アトム	HD-14	x1	x2				○
上ピボット受け	アトム	HD-11	x1	x2	アトム	HD-11	x1	x2				○
下ピボット	アトム	HD-13	x1	x2	アトム	HD-13	x1	x2				○
下ピボット受け	アトム	HD-15	x1	x2	アトム	HD-15	x1	x2				○
案内ライナー	アトム	HD-21	x1	x2	アトム	HD-21	x1	x2				○
丁番	アトム	HD-35	x3	x6	アトム	HD-35	x3	x6			○	
振止め金具	中尾	NP-61	x1	x2	中尾	NP-61	x1	x2				○

gpドア					PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	2枚折戸	4枚折戸		取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PB-106-※	x1	x2					○		○
アトム	HD-1-シルバー	x1	x1			○				○
アトム	HD-14	x1	x2					○		○
アトム	HD-11	x1	x2					○		○
アトム	HD-13	x1	x2					○		○
アトム	HD-15	x1	x2					○		○
アトム	HD-21	x1	x2					○		○
アトム	HD-35	x3	x6					○		○
中尾	NP-61	x1	x2					○		○

観音開き、腰高収納金物仕様書(PHD-011,12)

	ユーロトレンドドア			ACEドア			枠		ドア	
名称	メーカー	品番	数量	メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱
クローゼット取手	カワジュン	PC-166-※	x2	カワジュン	PC-063-XNL, 003L	x2				○
上レール	アトム	HD-1-シルバー	x1	アトム	HD-1-シルバー	x1		○		
上ピボット	アトム	HD-14	x2	アトム	HD-14	x2				○
上ピボット受け	アトム	HD-11	x2	アトム	HD-11	x2				○
下ピボット	アトム	HD-13	x2	アトム	HD-13	x2				○
下ピボット受け	アトム	HD-15	x2	アトム	HD-15	x2				○
開き戸用キャッチ	アトム	HD-100	x2	アトム	HD-100	x2				○

gpドア			PQD枠		PQDドア		輸入	
メーカー	品番	数量	取付	同梱	取付	同梱	取付	同梱
カワジュン	PB-106-※	x2				○		○
アトム	HD-1-シルバー	x1		○				○
アトム	HD-14	x2				○		○
アトム	HD-11	x2				○		○
アトム	HD-13	x2				○		○
アトム	HD-15	x2				○		○
アトム	HD-100	x2				○		○

3方向調整丁番

使用条件
一般住宅屋内用木製ドア(浴室には使用できません。)
◇対応ドア厚:33mm·36mm·38mm(38mmはシルバー色塗装のみ)
◇ドア質量:総質量で25kg以下(ドア幅800mm以下×ドア高さ2000mm以下·丁番2ヶ使用の場合)
◇左右勝手あり:本品は左右勝手があります。ご注文の際は必ず、左右いずれかを明示してください。
(ドアが手前に開く側から見て、左側に丁番が付く場合を左勝手、その反対を右勝手と呼びます。)

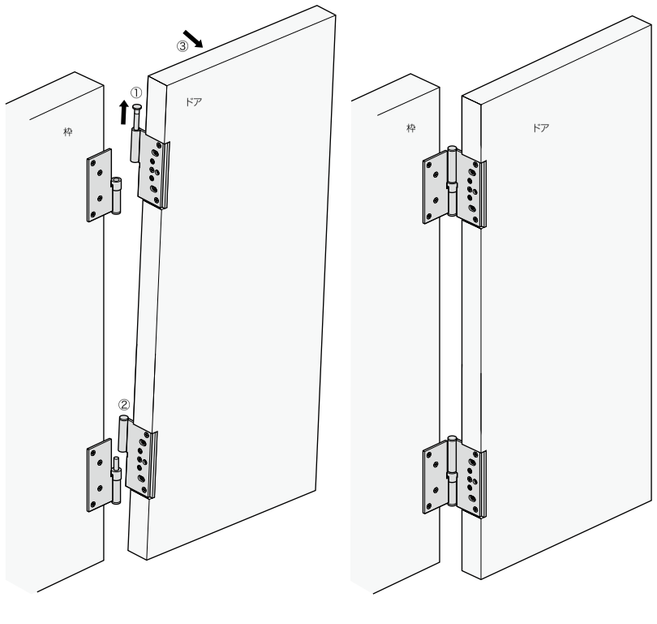
施工ガイド

■金具の取付け方法

①ドアの加工部に前後·左右調整プレートを取付けます。
②ドア側ハネを前後·左右調整プレートに取付けます。
③縦枠に枠側ハネを取付けます。

■吊込み手順

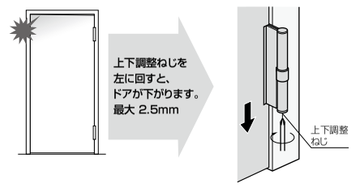
①上用丁番の軸心棒を引き出します。
②ドアが上枠に当たらないようにドアをやや傾けながら、下用丁番から差し込みます。
③ドアをまっすぐに立てて上用丁番の位置合わせをしてから、軸芯棒を下げて上用丁番の結合を行います。
④最後に建付けと軸芯カバーの調整をして完了です。



3方向調整丁番

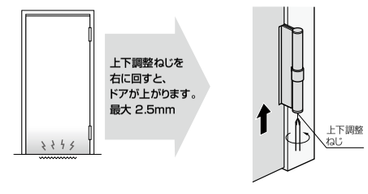
上下調整方法

ドアの上部が枠に当たる



●下用丁番の上下調整ねじを左に回すと、ドアは下がります。

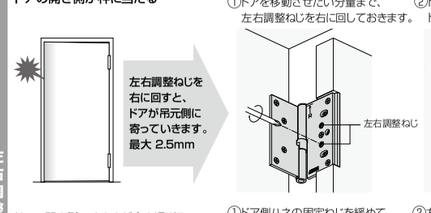
ドアの下部が床をこする



●下用丁番の上下調整ねじを右に回すと、ドアは上がります。

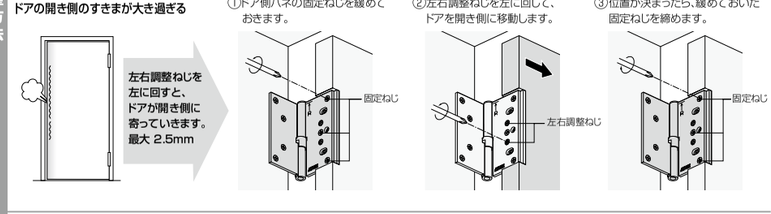
左右調整方法

ドアの開き側が枠に当たる



①ドアを移動させたい分量まで、左右調整ねじを右に回しておきます。
②ドア側ハネの固定ねじを締めると、ドアは吊元側に移動します。

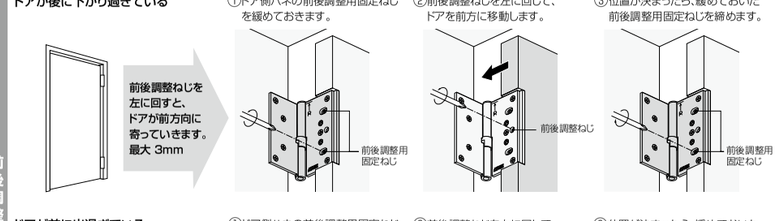
ドアの開き側のすきまが大きい過ぎる



①ドア側ハネの固定ねじを緩めておきます。
②左右調整ねじを左に回して、ドアを開き側に移動します。
③位置が決まったら、緩めておいた固定ねじを締めます。

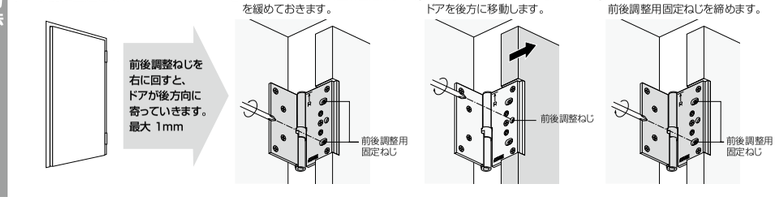
前後調整方法

ドアが後に下がり過ぎている



①ドア側ハネの前後調整用固定ねじを緩めておきます。
②前後調整ねじを左に回して、ドアを前方に移動します。
③位置が決まったら、緩めておいた前後調整用固定ねじを締めます。

ドアが前に出過ぎている

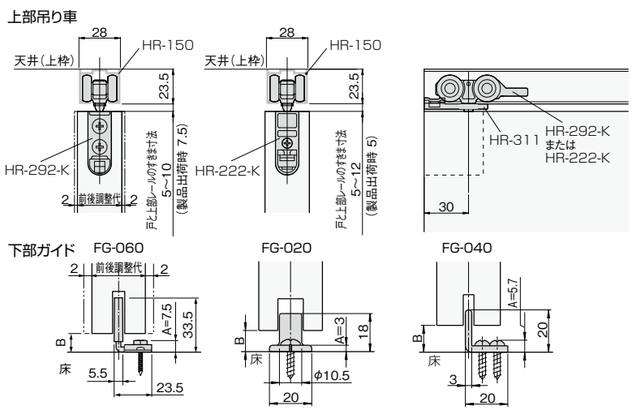


①ドア側ハネの前後調整用固定ねじを緩めておきます。
②前後調整ねじを右に回して、ドアを後方に移動します。
③位置が決まったら、緩めておいた前後調整用固定ねじを締めます。

HR SYSTEM 標準 HR-292-K／HR-222-K

設計ガイド

■金具の納まり参考図



●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ=枠の内寸高さ−23.5mm(上部レール)
−戸と上部レールの最大すきま寸法(左図参照)−3mm−A

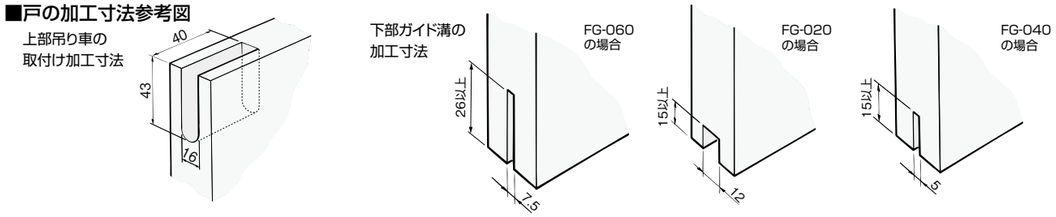
※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で戸の上下調整ができます。
※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

●B(下すきま寸法)の求め方

B=枠の内寸高さ−戸の高さ−23.5mm(上部レール)
−戸と上部レールのすきま寸法

※戸と上部レールのすきま寸法は、左図参照の範囲内で任意の寸法を設定できます。

■戸の加工寸法参考図

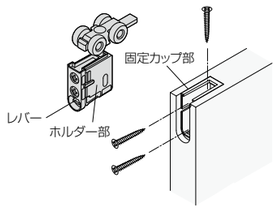


施工ガイド

■金具の取付け方法

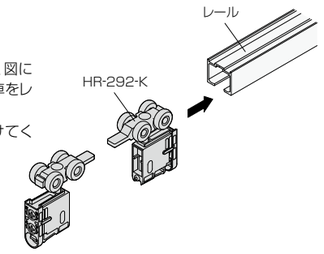
1.上部吊り車の取付け

①上部吊り車は、ホルダー部のレバーをつまんで、固定カップ部とホルダー部を分離します。
②固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



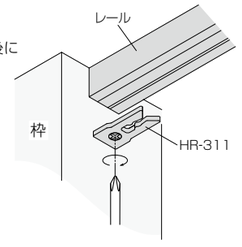
2.レールの取付け

①レールを取付ける前に、図に示す方向で、上部吊り車をレール内に挿入します。
②上枠にレールを取付けてください。



3.キャッチの取付け

①キャッチは、レールを取付けた後に装着する事ができます。

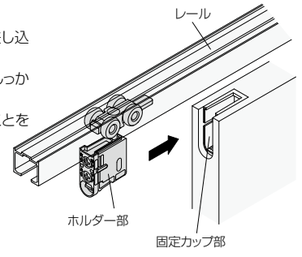


4.下部ガイドの取付け

①下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。
垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

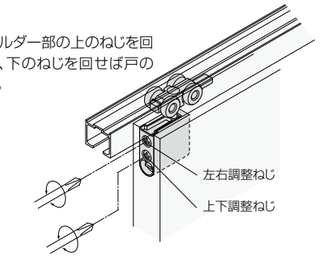
■戸の吊込み

①下部ガイドに戸のガイド溝を差し込みます。
②固定カップ部に、ホルダー部をしっかりと差し込みます。
※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。



■戸の位置調整

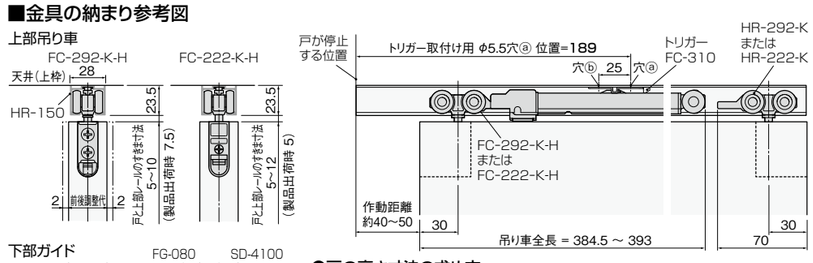
①戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回せば、戸の左右調整、下のねじを回せば戸の上下調整ができます。

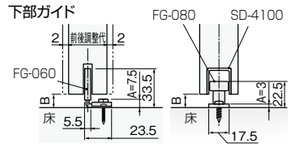


HR SYSTEM ソフトクローズ

設計ガイド

■金具の納まり参考図





●戸の高さ寸法の求め方

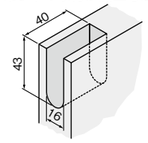
戸の高さ = 枠の内寸高さ − 23.5mm(上部レール) − 戸と上部レールの最大すきま寸法(左図参照) − 3mm − A
※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で上下調整ができます。
※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

●B(下すきま寸法)の求め方

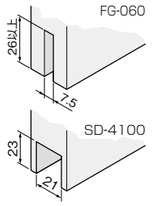
B = 枠の内寸高さ − 戸の高さ − 23.5mm(上部レール) − 戸と上部レールのすきま寸法
※戸と上部レールのすきま寸法は左図参照の範囲内で任意の寸法を設定できます。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車の取付け加工寸法



下部ガイド溝の加工寸法

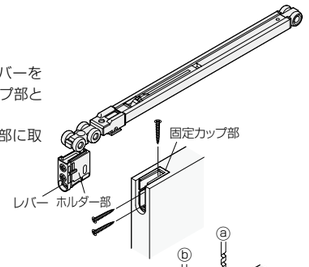


施工ガイド

■金具の取付け方法

1.上部吊り車の取付け

①上部吊り車ホルダー部のレバーをつまんで、ホルダー部とカップ部とを分離します。
②カップ部のみ戸の木口加工部に取付けてください。

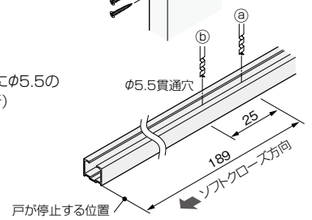


2.レールの穴あけ

①レール芯の所定位置ⓐⓑにφ5.5の貫通穴をあけます。(2ヶ所)

ご注意

レール内に残った切り粉は取除いてください。



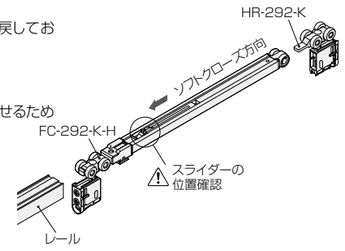
3.レールの取付け

①スライダーが図の位置になっているか確認します。
なっていなければ、押して戻しておきます。

ご注意

ソフトクローズを正しく作動させるために、必ず確認してください。

②レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
③上枠にレールを取付けてください。

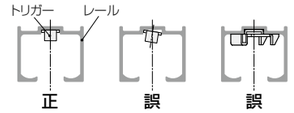


4.トリガーの取付け

①トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
②「2.レールの穴あけ」であけた穴ⓐに上記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。

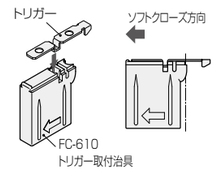
ご注意

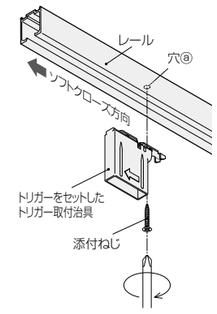
※治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
※トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



※必ず手回しドライバーで締め付けてください。
※トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

③完全に固定されたら、取付治具を下に引き抜き、残りの穴ⓑをねじ止めしてください。



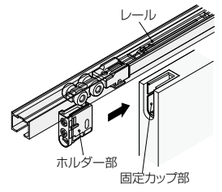


5.下部ガイドの取付け

①下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。
垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

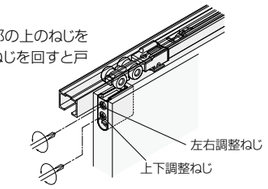
■戸の吊り込み

①下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差し込みます。
②カップ部にホルダー部をしっかりと差し込みます。
※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。



■戸の位置調整

①戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の左右調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。



※ソフトクローズの速度調整はできません。

アウトセットHR-150-OS（単一レール）　連動引戸金具 FG-900

使用条件　一般住宅屋内用木製引戸（浴室には使用できません。）　◇引戸の総質量:30kg（引戸1枚）　◇引戸の厚さ:24mm～40mm
◇引戸の最小幅:790mm　◇使用温度範囲:5℃～40℃　◇クローズ速度調整:調整できません

設計ガイド

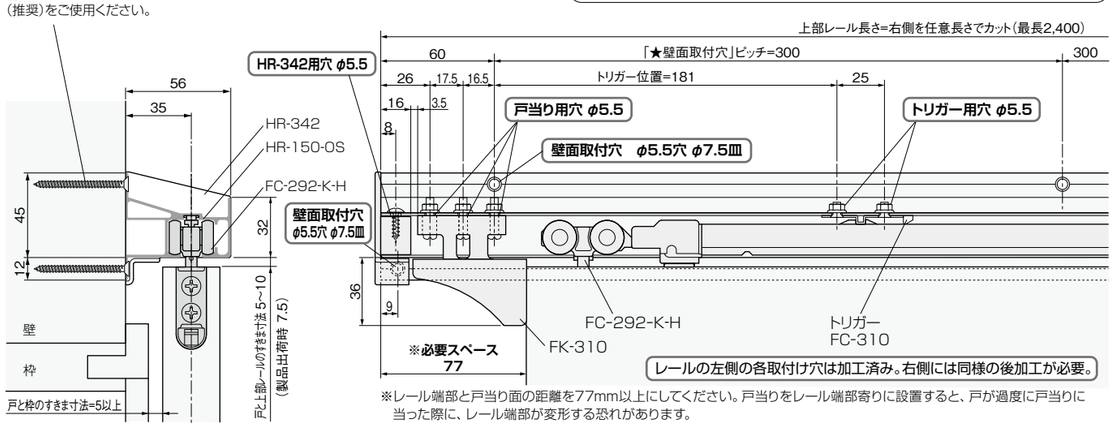
■金具の納まり参考図

レール加工時のご注意

- レールには左右勝手があります。正面から見て左側の取り付け穴を基準に施工しますので、レールをカットする場合は右側をカットしてください。
- 「★壁面取付穴」と左側の各取付け穴は加工済みです。右側の穴はすべて別途穴加工が必要となります。
- 図はレール左側の穴加工位置です。右側にも左右対称となる位置に同様の穴加工をしてください。
- 左端部から10mmと60mmの位置にある壁面取付穴は、右端部にはありませんので、レールカット後、同様の位置に穴加工をしてください。

上部レールおよび吊り車

※図はレール左側をあらわしております。右側は左右対称となります。



※レール端部と戸当り面の距離を77mm以上にしてください。戸当りをレール端部寄りに設置すると、戸が過度に戸当りに当った際に、レール端部が変形する恐れがあります。

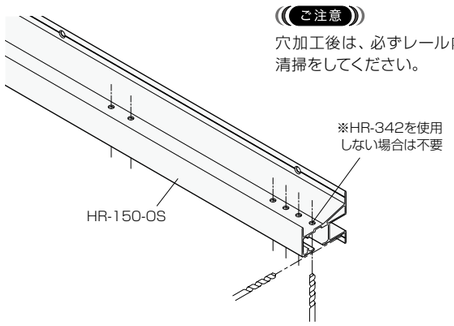
施工ガイド

■金具の取付け方法

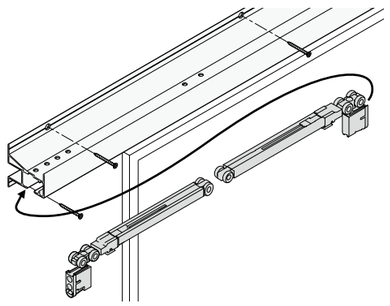
1.レールの取付け

①レールの右側を任意長さでカット後、「設計ガイド」の加工寸法を参考に、レールの右側に穴加工をします。戸当りやトリガー用の穴は上部レールの内側から加工します。

ご注意
穴加工後は、必ずレール内の清掃をしてください。

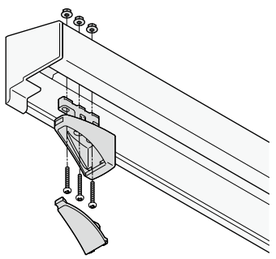


②上部吊り車をレールに挿入し、レールを壁面に固定します。HR-342を使用する場合はこの時に取付けます。



2.戸当りの取付けと戸の吊込み

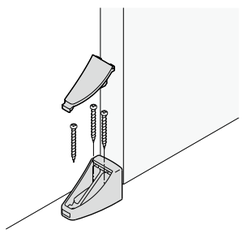
①上部戸当りをレールに取付けます。



②667ページを参考に、トリガーと下部ガイドを取付け、戸を吊り込みます。

③667ページを参考に、戸の位置調整をし、ソフトクローズの初回動作を確認します。

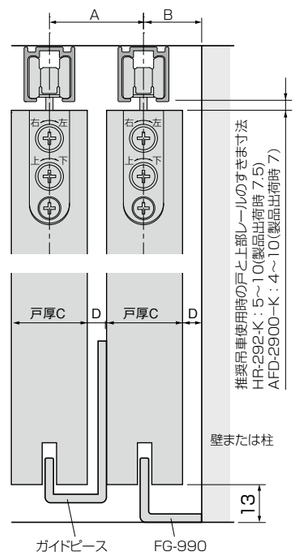
④下部戸当りを上部戸当りと位置を合わせ、床に取付けます。



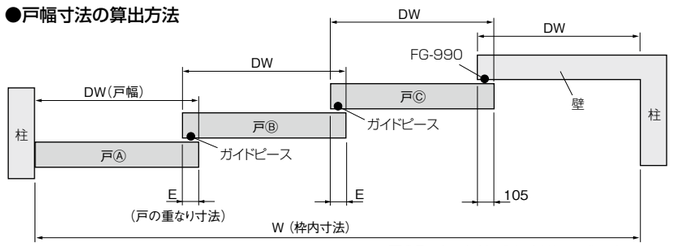
設計ガイド

■金具の納まり参考図

●上下及び側面の納まり寸法



●戸幅寸法の算出方法



※ 戸の重なり寸法は、各ガイドがエンドクッションに入り込むために必要な寸法です。

■表記訂正（12/11/12）

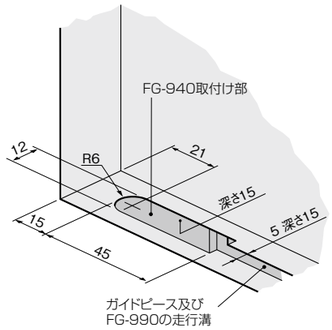
$$戸幅\ DW = \frac{枠内寸法W + \{(戸の枚数-1) \times 戸の重なり代\ E + 105\}}{戸の枚数 + 1}$$

ガイドピース	A	B	戸厚C	D	E
FG-980（27-7）	34	20.5	27	7	105
FG-970（30-7）	37	22	30	7	
FG-960（30-9）	39	24	30	9	
FG-950（33-7）	40	23.5	33	7	80

ご注意

- 正常に引戸を連動させるために、床と戸のスキマは13mmになるようにしてください。
- 吊車の上下調整を行う際に、ガイドピースが戸や床に接触しないようにしてください。
  また、FG-990が戸に接触しないようにしてください。
- 幅と高さの比率が約1：5を超えるような引戸を使用して連動させた場合、動作が不安定になる場合があります。

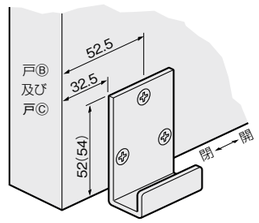
■戸下面の加工寸法参考図



■金具の取付け位置

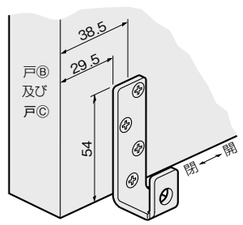
●ガイドピースの取付け（戸Ⓑと戸Ⓒの閉じ側先端部）

FG-980·FG-970·FG-960の場合

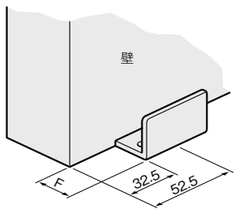


※カッコ内寸法はFG-970の場合

FG-950の場合



●FG-990の取付け



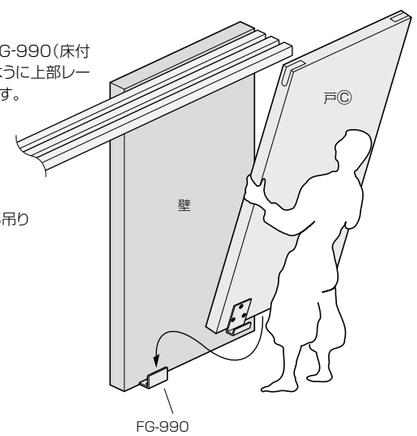
※F=　FG-980=22
FG-970=23.5
FG-960=25.5
FG-950=25

施工ガイド

■戸の吊込み

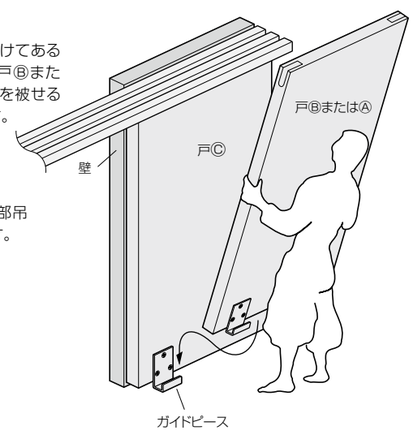
①戸Ⓒの下部溝をFG-990（床付ガイド）に被せるように上部レールの下に設置します。

②戸とレール内上部吊り車を接続します。



③戸Ⓒ先端に取付けてあるガイドピースに戸Ⓑまたは戸Ⓐの下部溝を被せるように設置します。

④戸とレール内上部吊り車を接続します。

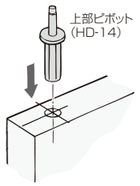


施工ガイド

■金具の取付け方法

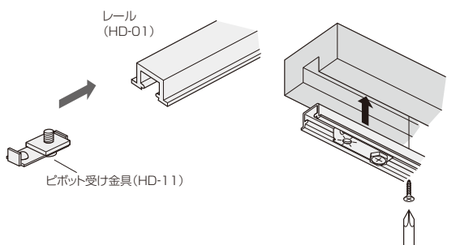
1.戸に付ける金具の取付け

①丁番を所定の位置に取付けます。
②戸に加工した穴に、下部ピボット(HD-13またはHD-16)、上部ピボット(HD-14)、案内ランナー(HD-21)を挿入します。



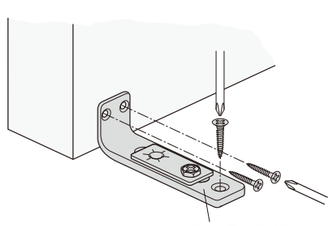
2.レールの取付け

①上レールを取付ける前に、ピボット受け金具(HD-11)を上レール内に挿入しておきます。(ゴムストッパーHD-12を使用する場合は、それも先に挿入しておきます)
②レールを取付けてください。



3.下部ピボット受け金具の取付け

①ピボット受け金具(HD-15)を床(または下枠)と縦枠に木ねじ止めします。



■戸の吊込み

①ピボット受け金具(HD-11)は上レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具(HD-15)よりも開き側の方へずらしておきます。
②戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け金具(HD-15)に入れます。(図1)
③図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上レール内のピボット受け金具(HD-11)に、次に上の案内ランナーを上レールに入れます。
④吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をスパナでしっかりと固定してください。(図3)

図1

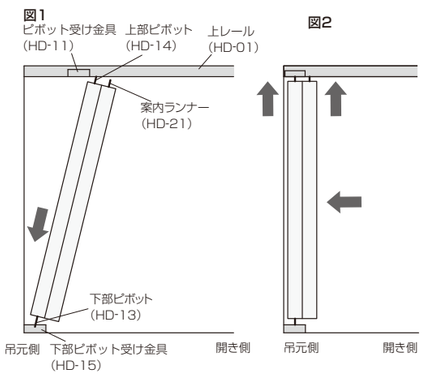
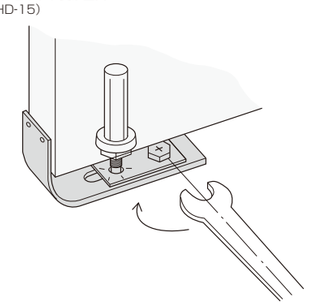


図2

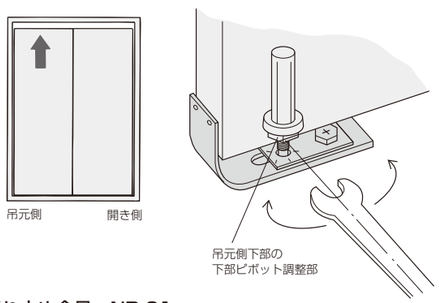
図3



■戸の位置調整

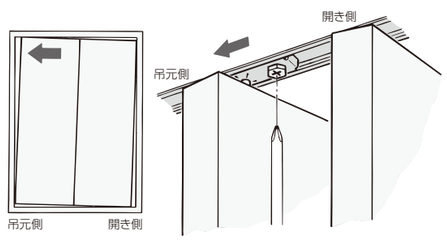
戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合
➡下部ピボットで、上下調整をしてください

①戸を閉めた状態で、下部ピボットの調整部をスパナ(HD-61)で回すと、戸が上下します。

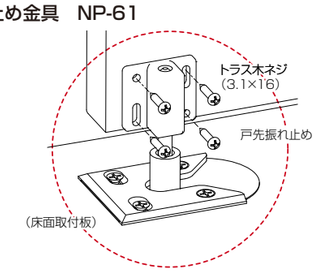


戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合
➡ピボット受け金具で、左右調整をしてください

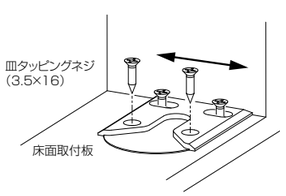
●例えば戸が図のように傾いている場合は、上レールのピボット受け金具(HD-11)を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具(HD-15)のプレート部を開き側に寄せて調整します。



■振れ止め金具　NP-61



最後に戸先振れ止めを取付けます。
マグネット式振れ止めを所定の位置に合わせネジにて固定します。



※仮固定しておいた床面取付板も、位置を合わせてネジ固
ください。

必ず施工前にこの取付説明を読み正しく施工してください。

AC-774/784ドアキャッチャー施工・取付説明書

(本説明書は取付後も破棄せず、ワックスカバーと共にご使用者にお渡しください。)

設置条件：床と扉下部の隙間が１０～２０mmまでの対応。

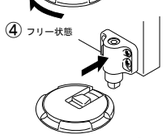
特徴・動作(AC774)

① 扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しキャッチ状態になります。

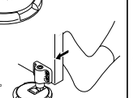
② キャッチ状態

③ もう一度扉を押すとバンパーが押され、リングが回転しフリー状態になります。

④ フリー状態



※扉がしなって押しづらい時は足で軽く押すと楽に作動させることが出来ます。



⚠ 注意
ドアキャッチャーをご使用の際は必ず扉、レバーハンドル等に手を添えた状態で押し付けるようにご使用ください。

①取付けの位置決め

本体を取付ける位置は、ストライクが扉の端から１０～１００mmの間の位置にくるように設置してください。
また、扉を開けた時にレバーハンドルが壁に接触しない位置に取付けてください。

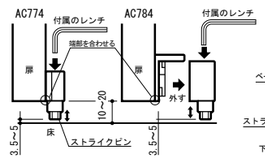
⚠ 取付位置注意
ドアキャッチャーをヒンジ側方向に取付けたり、壁際ギリギリの位置などに取付けますと扉のしなりでレバーハンドルが壁に接触することがありますので扉との余裕を見て検証しながら位置を決めてください。

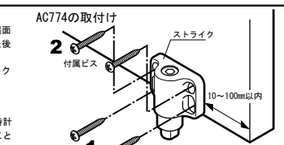
②ストライクの取付け

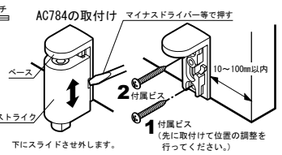
取付位置が決まりましたら、ストライクの下端部を扉の端面に合わせての下段の長穴からビスを取付け、平行を出した後上段のビスを取付けてください。
(AC784の場合は、ベースからマイナスドライバー等でロックを解除し、ストライク部を外してから取付けてください。)

ストライクの調整について

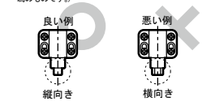
ストライク上部の穴に付属の六角レンチを差し込んで時計回りに押し回しますと、ストライクピンを下方向へ出すことができます。床からの高さを3.5～5mmに調整してください。
(AC784の場合はレンチで調整後、ベースに取付けてください。)



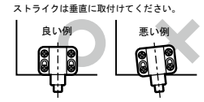




⚠ ストライクピンの向き
ストライクピンは縦方向にセットします。横方向に取付けると、扉をキャッチした際に遊びが大きくなります。
(横方向の平面はレンチなどで高さ調整する為のものです。)



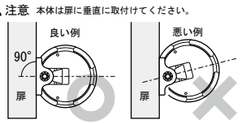
⚠ 注意
ストライクは垂直に取付けてください。



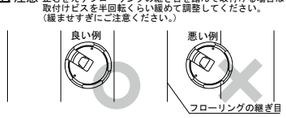
③本体の取付け

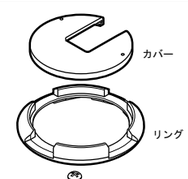
ストライクの付いた扉を動かし、ストライク下部の突起がベースのバンパーに当たる位置で、取付け位置を決め、ベースをビスにて取付けます。
次にリングをはめ、カバーを(図1)に従ってはめてください。
※厚み１１mm以上の直貼り床材使用の際は直にビス止めしてください。
※直貼りで厚み１１mm未満の床材の場合は付属の長ビスとエビモンゴプラグをご使用ください。(裏面参照)
※カーペット敷きには専用(別売)のカーペットベースをご使用ください。

⚠ 注意 本体は扉に垂直に取付けてください。



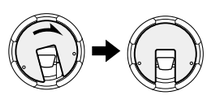
⚠ 注意 フローリングの継ぎ目は踏まないよう、取付けください。止むをえずフローリングの継ぎ目を踏んで取付ける場合は取付けビスを半回転くらい緩めて調整してください。(緩ませすぎにご注意ください。)





⚠ 注意 電動ドライバーを使用する場合は最後まで締めこまず、手動ドライバーにて軽く締めてください。

カバーの取付け方



カバーは図の位置に置き、手のひら等で右に回転させ完了します。
外す場合はこの逆の操作を行ってください。

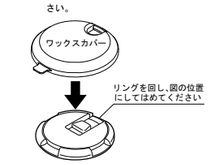
図1

④取付け後の確認と養生

取付けが完了しましたら必ず動作確認を行ってください。

⚠ 注意 取付け完了後、リングが軽く回るか確認してください。軽く回らない場合は付属ビスを半回転位緩めると、改善出来ます。(緩ませすぎにご注意)

⚠ 注意 確認が終わりましたら付属のワックスカバーを本体にかぶせて養生してください。



※正常に作動しない場合、裏対処してください。

KAWAJUN
NO. 009

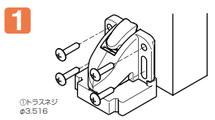
床付けドアキャッチャー　DC-81

⚠ 金具取付時のご注意

【カーペット上取付禁止】床金具をカーペット上に直接取付けないでください。取付面が不安定なため故障の原因となります。
【取付位置】床～扉側本体チリ寸法=7～13mm範囲(推奨:取付治具による設置 チリ=10mm)をお勧め致します。
※取付高さやその他の要因(床や扉の傾き等)によって機能差が生じます。
【手動ドライバーの推奨】電動ドライバーをご使用の場合はネジを締めきらず、最後に手動ドライバーで締めつけてください。
強く締めすぎると、本来の機能を防げることがあります。

梱包部品

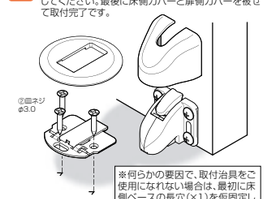
1



扉側本体を取付治具の上にセットし、扉の任意の位置に軽く押し当てます。長穴(×2)を①で仮固定し、取付位置を調整します。調整後、丸穴と長穴を①でしっかり固定してください。

2 床側ベースを取付ける位置まで扉を開き、取付治具前面のV溝(矢印位置×2)に沿ってペン等で罫書きます。
※罫書き終わったら取付治具を手前に引き抜いて取外してください。

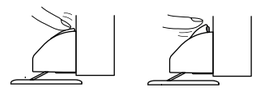
3 2で床に罫書いた印と、床側ベースの丸穴の位置を合わせ、丸穴(×2)→長穴(×1)の順に、②でしっかり固定してください。最後に床側カバーと扉側カバーを被せて取付完了です。



※何らかの要因で、取付治具をご使用になれない場合は、最初に床側ベースの長穴(×1)を仮固定し位置調整をしてください。調整後、3ヶ所の穴をしっかり固定してください。

使い方

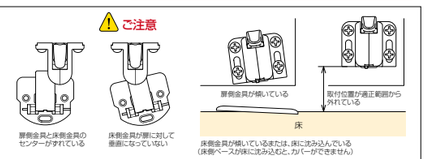
上側の切替スイッチを押す度に、フリーモード(解錠)とロックモード(施錠)が切り替わります。
※スイッチの操作は、扉を手で軽く固定しながら行ってください。



●装置をロックしたまま扉を無理に閉めないでください。扉・壁・床、またはロッキンカイト本体に破損を生じる原因となります。

⚠ ご注意

右図または下記のような取付やご使用は、扉や壁、床、またはロッキンカイト自体に破損を生じさせる原因となりますのでご注意ください。



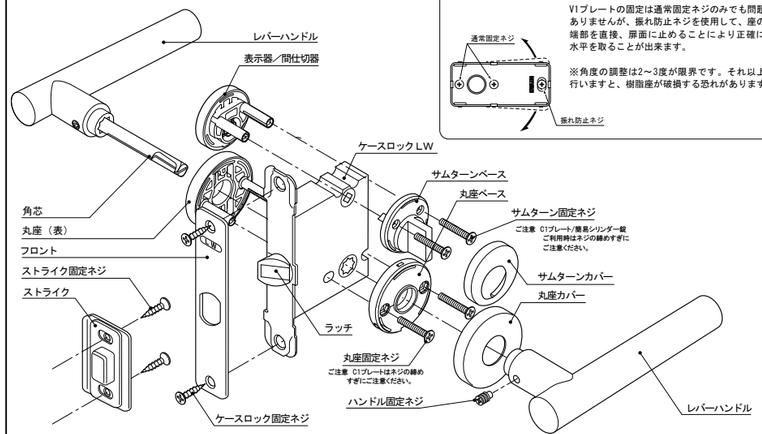
●設定範囲(チリ7～13mm)外では、キャッチ機能・ロック機能が正常に働きません。
●ロックモードのまま、扉を無理に閉めないでください。
●製品の性格上、扉金具が扉の面から突出しております。開閉時やご通行時には十分ご注意ください。
●上記要因や、お客様の誤操作・施工不良によって生じた損害に対し弊社は一切の責任を負わないものと致します。

レバーハンドル取付説明書

LWケースロック（丸座C1/C3/C9角座T2/T3/G1/V1プレート用）

●本説明書は取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。

●レバーハンドル・セット内容と各部の名称



V1プレートの補助機能

V1プレートの取付け角度微調整。

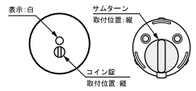
V1プレートの固定は通常固定ネジのみでも問題ありませんが、振れ防止ネジを使用して、座の端部を直接、扉面に止めることにより正確に水平を取ることが出来ます。

※角度の調整は2～3度が限界です。それ以上行いますと、樹脂座が破損する恐れがあります。

取付前の調整

表示・サムターン取付位置

ケースのラッチが開錠状態（ラッチが引込む状態）のときにサムターン、コイン錠は最初に本図位置の状態で設置してください。
※取付け後に正常に機能しなくなる恐れがあります。



商品について

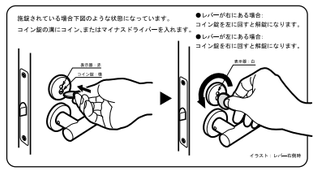
●弊社ハンドルシリーズは、すべて室内専用です。
●弊社ハンドルシリーズは、セット販売が基本です。
他社パーツとの組合せによる不具合には責任を負いかねますのでご了承ください。
●ハンドル等に付いている養生シートは工事終了までやさないでください。
●レバーハンドルのメンテナンスは、やわらかい布などで拭くことを定期的に行ってください。汚れがひどい場合、水または中性洗剤を水で5～10%程度に薄めて浸した布をよくしぼり拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は使用しないでください。

⚠ 安全に関するご注意

●取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。
また取付け後、必ず動作確認をしてください。
施工が不完全な場合ガタツキ・はずれ等によりケガをするおそれがあります。
●商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
●用途以外のご使用はしないでください。はずれ等によりケガをするおそれがあります。
●屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。
部品などが腐食して、破損しやすくなりケガをするおそれがあります。
●必要以上の荷重をかけますと部品等がはずれ、ケガなどの原因になりますのでご注意ください。

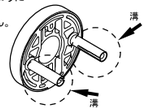
表示器側からの解錠の手順（緊急時）※室内側から鍵が掛かってしまった場合。

施錠されている場合下図のような状態になっています。
コイン錠の溝にコイン、またはマイナスドライバーを入れます。

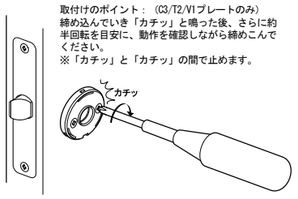


●プレートの取付け

プレートの取付け座（樹脂製）及び、表示器のボスには溝が切ってあります。
このタイプの取付け座は締め終わりを「カチッ」と音で知らせるようになっています。
※C1プレートには有りません。



取付けのポイント：（C3/T2/V1プレートのみ）
締め込んでいき「カチッ」と鳴った後、さらに約半回転を目安に、動作を確認しながら締めこんでください。
※「カチッ」と「カチッ」の間で止めます。



※丸座タイプと角座タイプの取付け方法は共通です。
（イラストは丸座タイプ）

NO.013
30-0308 Ⓢ5

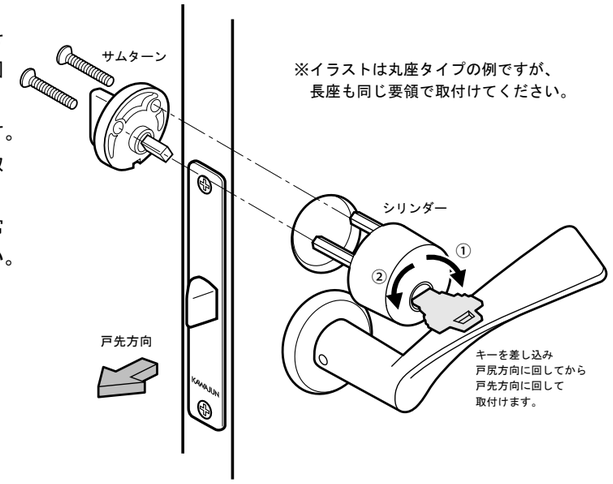
レバーハンドル取付説明書

簡易シリンダー錠（丸座・長座兼用）

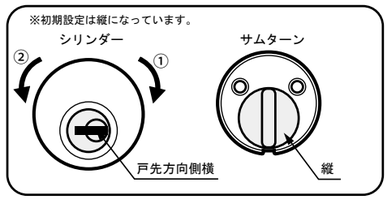
KAWAJUN

施工の手順 ※誤った取付けを行いますと正常に作動しませんのでご注意ください。

1. はじめにロックケースがロックされてないか確認してください。
2. シリンダーに付属のキーを差し込み、取付ける扉の戸尻方向側に回してから、戸先方向側に回します(横位置)。
3. サムターンはツマミを縦位置にしておきます。シリンダーとサムターンの位置を確保しながら取付けてください。
4. サムターンのカバーを取付ける前に鍵が正常にロック・解除できるか動作確認を行ってください。



取付前のシリンダー・サムターンの位置



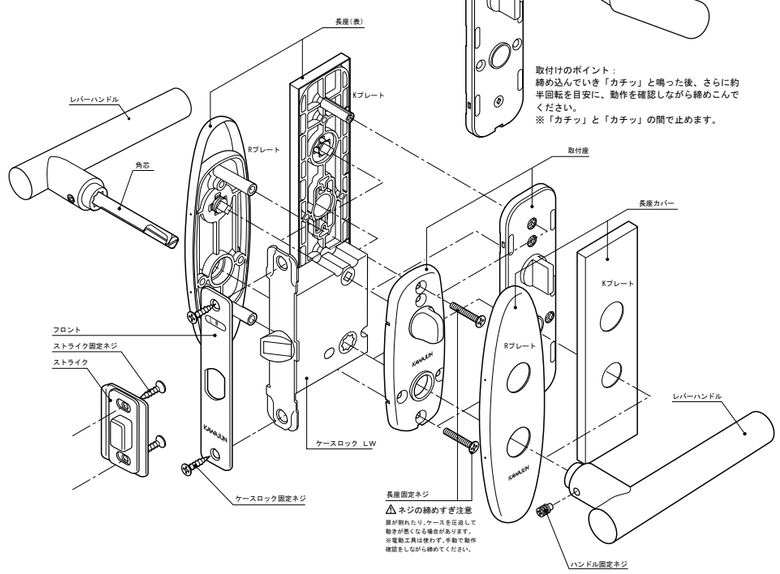
No.002-b

レバーハンドル取付説明書　LZLWR42T・LZLWK42T

LWケースロック（長座R・Kプレート用）

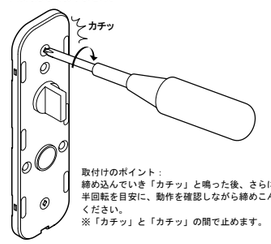
●本説明書は取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。

●レバーハンドル・セット内容と各部の名称



Kプレート取付け

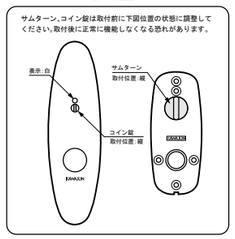
Kプレートの取付け座（樹脂製）のボスには溝が切ってあり、締め終わりを「カチッ」と音で知らせるようになっています。
※Kプレートは対応しておりません。



取付けのポイント：
締め込んでいき「カチッ」と鳴った後、さらに約半回転を目安に、動作を確認しながら締めこんでください。
※「カチッ」と「カチッ」の間で止めます。

R・Kプレート取付け前の調整

サムターン、コイン錠は取付前に下図位置の状態に調整してください。取付後に正常に機能しなくなる恐れがあります。



商品について

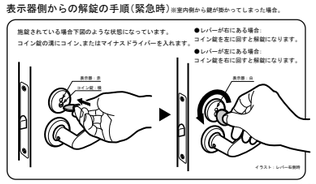
●弊社ハンドルシリーズは、すべて室内専用です。
●弊社ハンドルシリーズは、セット販売が基本です。
他社パーツとの組合せによる不具合には責任を負いかねますのでご了承ください。
●ハンドル等に付いている養生シートは工事終了までやさないでください。
●レバーハンドルのメンテナンスは、やわらかい布などで拭くことを定期的に行ってください。汚れがひどい場合、水または中性洗剤を水で5～10%程度に薄めて浸した布をよくしぼり拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は使用しないでください。

⚠ 安全に関するご注意

●取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。
また取付け後、必ず動作確認をしてください。
施工が不完全な場合ガタツキ・はずれ等によりケガをするおそれがあります。
●商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
●用途以外のご使用はしないでください。はずれ等によりケガをするおそれがあります。
●屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。
部品などが腐食して、破損しやすくなりケガをするおそれがあります。
●必要以上の荷重をかけますと部品等がはずれ、ケガなどの原因になりますのでご注意ください。

表示器側からの解錠の手順（緊急時）※室内側から鍵が掛かってしまった場合。

施錠されている場合下図のような状態になっています。
コイン錠の溝にコイン、またはマイナスドライバーを入れます。



NO.008
10-0306 Ⓢ3

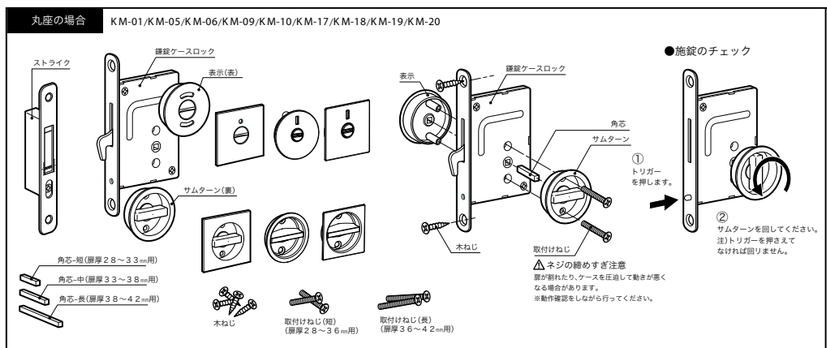
鎌錠（丸座・長座）取付説明書　LZKMT

KM-01～20

当製品は、扉厚対応を角芯とネジ長さにて対応しています。下記説明図を参考に適正な部品を選んで施工してください
※対応扉厚２８～４２mm

鎌錠・セット内容と各部の名称

丸座の場合　KM-01/KM-05/KM-06/KM-09/KM-10/KM-17/KM-18/KM-19/KM-20



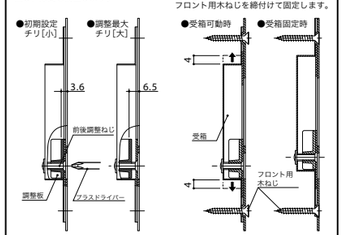
ストライクの調整方法(丸座・長座共通)

1. 前後調整

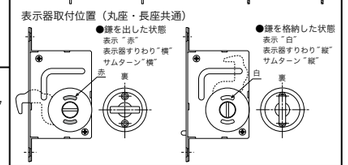
前後調整ネジをプラスドライバーで回し、隙間を調整します。

2. 上下調整

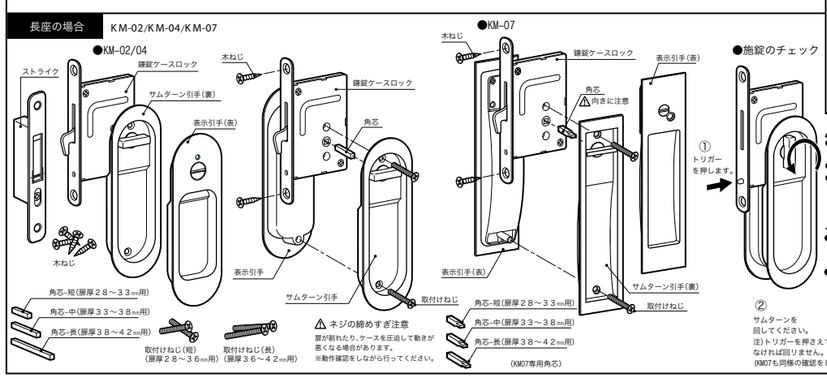
フロント用木ねじを一旦緩め、受箱を上下に動かし調整します。位置が決まったら、フロント用木ねじを締付けて固定します。



表示器取付位置（丸座・長座共通）



長座の場合　KM-02/KM-04/KM-07



⚠ 注意

●取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。また取付け後、必ず動作確認をしてください。
●商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
●屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などが腐食して、破損しやすくなりケガをするおそれがあります。

メンテナンスについて

●定期的に乾燥したやわらかい布で軽く拭いてください。(必要以上に強くこすらないでください。キズがつくことがあります。)また、汚れがひどい場合は、水または中性洗剤を水で5～10%程度に薄めて浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は表面を痛めますので絶対に使用しないでください。※上記成分の含まれる除菌シート等もご使用にならないでください。

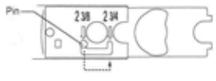
30-120351　No.019

Kwikset 取付説明書

レバータイプ用

2015.2.1作成

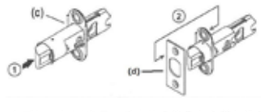
① バックセットを合わせる



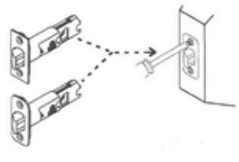
はじめにラッチのバックセットのピン位置を確認します。
加工されている扉のバックセット位置に併せて
２3/8"(60mm)と、２3/4"(70mm)を切り替えてご使用願います。

② ラッチを組み合わせる　～　扉へ取り付ける

（プレートタイプの場合）

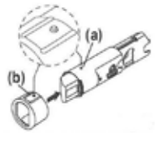


バックプレート(c)をラッチ本体の後ろから差し込み、フェイスプレート(d)を前から差し込み、②の通りに重ね合わせます。

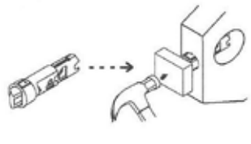


組み合わせたラッチを扉に挿入します。手締めドライバーを使用して付属のビスで固定してください。

（ラウンドタイプの場合）



ラッチの(a)の突起に、カバーの(b)の位置を合わせてはめ込みます。



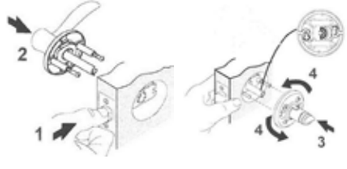
組み合わせたラッチを扉に挿入します。あて板を使用して金槌等で押し込んで固定します。

③ ビス無し取手の台座カバーを外す

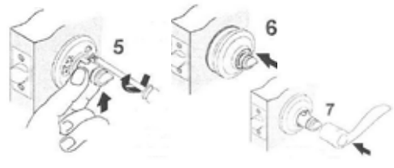
付属の金具を使用してハンドル横にあるイモネジを①の矢印方向に緩めます。イモネジが緩むると②のようにハンドルが外れます。

③の方向に保護シールを引っ張ると、台座カバーが外れます。
次の工程のためにビス穴を露出させた状態にしてください。

④ 取手を取り付ける

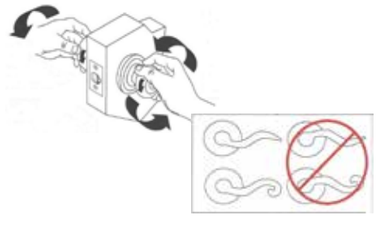


１の方向にラッチを押し込みながら、ラッチ本体の半円軸に合わせて２の方向からビス有り取手を差し込みます。
反対側の３の方向からビス無し取手を差し込み、４の方向に回転させて、ビス有り取手が貫通している穴の小さい方に合わせます。



手締めドライバーで５の方向にビスを締めて全体を固定します。
先程外した台座カバーとハンドルを戻し、イモネジを締め付ければ完了です。

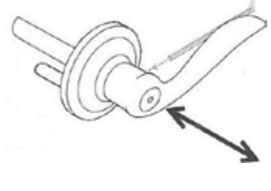
⑤ 動作を確認する　～　取り付け完了



（注意：左図はノブタイプですが、確認作業は同様です）
図のように取手を回転させて、反対側の取手が連動して作動する事をご確認ください。
サムターン錠の場合、鍵をかけた場合に取手も固定されるかも併せてご確認ください。
上記いずれの動作で不具合が生じた場合は、ネジの締め付け過ぎや、ロックがかみ合っていない事が考えられますので、もう一度手順も戻って各工程をご確認願います。

ご注意ください!
※ハンドルの正しい方向は左図のとおりです。

☆ ハンドルを外して勝手方向を変更する（730,740の場合）



製品は工場出荷時に右勝手用にセットされています。

720（空錠）は左右兼用です。
730（サムターン錠）と740（本締錠）は、左勝手用で使用される場合は、ハンドルを入れ替えて勝手方向を変更する必要が有ります。

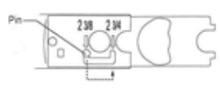
ハンドル取り外し手順は、ハンドル横にあるイモネジを緩めることで外れます。
詳しくは本紙③の手順をご参照ください。

Kwikset 取付説明書

ノブタイプ用

2015.2.1作成

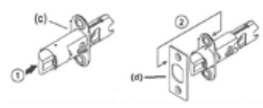
① バックセットを合わせる



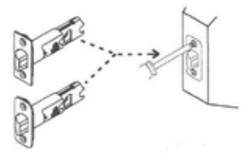
はじめにラッチのバックセットのピン位置を確認します。
加工されている扉のバックセット位置に併せて
２3/8"(60mm)と、２3/4"(70mm)を切り替えてご使用願います。

② ラッチを組み合わせる　～　扉へ取り付ける

（プレートタイプの場合）

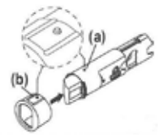


バックプレート(c)をラッチ本体の後ろから差し込み、フェイスプレート(d)を前から差し込み、②の通りに重ね合わせます。

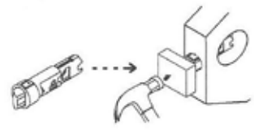


組み合わせたラッチを扉に挿入します。手締めドライバーを使用して付属のビスで固定してください。

（ラウンドタイプの場合）

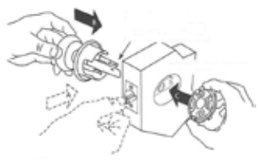


ラッチの(a)の突起に、カバーの(b)の位置を合わせてはめ込みます。



組み合わせたラッチを扉に挿入します。あて板を使用して金槌等で押し込んで固定します。

③ ビス有り取手を取り付ける

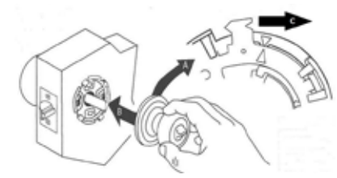


A方向にラッチを押し込みながら、ラッチ本体の半円軸に合わせてB方向からビス有り取手を差し込みます。反対側のC方向より台座プレートを差し込みます。

台座プレートをD方向に回転させ、ビス有り取手が貫通している穴の小さい方に合わせます。手締めドライバーでE方向にビスを締めて全体を固定します。

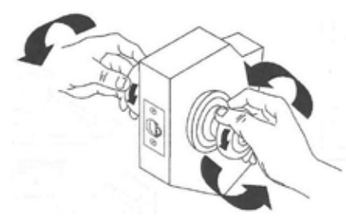
④ ビス無し取手を取り付ける

ビス無し取手の台座部分についているカバーを、図のようにA方向に外して、横面から拡大図のようなフックが見える状態にしてください。
次にフックをC位置からD位置に移動させてください。



ビス無し取手をB方向より挿入し、先に組み込み済の台座プレートに設置します。このときに金具同士がかみ合っている事を確認してください。
次にドライバー先端などを利用してCの方向にフックを押し込めば、ロックが掛かり取手が固定されます。

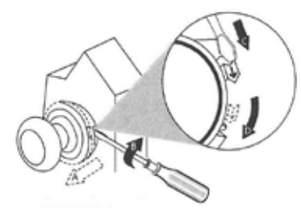
⑤ 動作を確認する　～　取り付け完了



最後にビス無し取手の台座カバーをはめ直します。

図のように取手を回転させて、反対側の取手が連動して作動する事をご確認ください。
サムターン錠の場合、鍵をかけた場合に取手も固定されるかも併せてご確認ください。
上記いずれの動作で不具合が生じた場合は、ネジの締め付け過ぎや、ロックがかみ合っていない事が考えられますので、もう一度手順も戻って各工程をご確認願います。

☆ 取手を取り外す



取手を取り外す場合は、手順の④をやり直します。

ビス無し取手の台座部分についているカバーを、図のようにA方向に外して、横面から拡大図のようなフックが見える状態にしてください。

ロック（固定されている）状態の場合は、フックがC位置にあります。
解除する場合はフックをC方向から、D方向へ移動させるとロックが解除され、台座プレートからビス無し取手が外れます。

プレイリーホームズドアシリーズ専用FAXオーダー用紙

FAX 052-930-7856

プレイリーホームズ株式会社 ドア担当行 空欄に必要事項をご記入の上、当社宛にFAXご送信願います。

■ご依頼主情報

記入日　　.　　.

お名前

貴社名

TEL　(　　)　　ー

FAX　(　　)　　ー

■お届け先情報

物件名

ご住所

荷受人様　　TEL (　　)　　ー

現地地図　　有　・　無

納品希望　　月　　日　　希望

■ご注文内容 ※品番は各カタログをご参照ください。

No.	ドアシリーズ	1 ドアスタイル	2 サイズ呼称	3 種類	4 枠見込み	5 開き勝手	6 取手・引き手	7 カラー	本数	備考
1	ET・gp・ACE									
2	ET・gp・ACE									
3	ET・gp・ACE									
4	ET・gp・ACE									
5	ET・gp・ACE									
6	ET・gp・ACE									
7	ET・gp・ACE									
8	ET・gp・ACE									
9	ET・gp・ACE									
10	ET・gp・ACE									
11	ET・gp・ACE									
12	ET・gp・ACE									
13	ET・gp・ACE									
14	ET・gp・ACE									
15	ET・gp・ACE									

■コメント欄

■当社返信記入欄

FAX受領日　　.　　.　　御見積ご返信　　.　　.

ご連絡事項:毎度お世話になっております。下記にご連絡申し上げます。

担当

Prairie Homes
プレイリーホームズ株式会社

名古屋　〒461-0004　名古屋市東区葵3-7-14 IMYビル7F
TEL.(052)930-7855　FAX.(052)930-7856

松　本　〒390-1131　長野県松本市今井野尻5031
TEL.(0263)50-3911　FAX.(0263)50-3912

URL http://www.prairie.co.jp

●製品改良のため、予告なしに仕様および価格の変更をさせていただくことがございます。
●本カタログに使用されているイラスト・写真・文章の無断複写・無断転載を禁じます。